

# 資料編

## Appendix





## 導入

日本政府（内閣府）の主催事業である「世界青年の船」事業、グローバルリーダー育成事業、グローバルユースリーダー育成事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」（以後、「世界青年の船」事業及び後継事業）は、日本の青年の国際的視野を広げ、日本及び諸外国の青年相互の理解と友好を促進し、併せてその国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。さらに、文化・思想を始めとした多種多様性を有する国際社会の縮図となる「世界青年の船」での共同生活・活動という具体的かつ実践的な経験の場を提供することを通じ、世界中の青年同士の人的ネットワークの構築や共同活動の促進など、人材育成という観点から目に見える形での国際貢献に寄与することを目指す。

「世界青年の船」事後活動組織憲章の前身となる「世界青年の船」事後活動組織合意書（東）は1996年1月にまとめられ、「世界青年の船」事業東廻り13か国が合意の署名をした。「世界青年の船」事後活動組織合意書（西）は「世界青年の船」事業西廻り14か国が1997年1月に合意の署名をした。

2005年にすべての事後活動組織が共通の目標を持って活動に取り組むことを目的として、二つの合意書（東）と（西）は「世界青年の船」事後活動組織憲章という統一の憲章にまとめられた。

「世界青年の船」事後活動組織憲章は2013年4月15日に「世界青年の船」国際連盟憲章に改定され、「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議に参加した28か国が署名した。

「世界青年の船」事後活動組織憲章は2014年1月1日に施行された。

## 序文

「世界青年の船」事業及び後継事業で培われた精神を継続させることを目的に、各国で既参加青年のための組織が設立されている。「世界青年の船」国際連盟は「世界青年の船」事業及び後継事業で培われた文化理解、国際協力、国際平和の実現に向けてのリーダーシップ精神を推進し、支援している。

## 改訂

署名 2013年4月15日、2014年1月1日効力発生

2014年5月「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議、  
2014年6月1日効力発生  
2014年11月「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議、  
2014年12月1日効力発生

## 第1章：使命、目標、任務

### 第1条

#### 我々の共通の使命と目標

1. 「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年のネットワークを継続すること。
2. 加盟各国の友好関係を継続し、連携を強化すること。
3. 自国及び国際社会に貢献する活動に取り組むこと。
4. 自国及び加盟国において、社会に貢献するリーダーを育成すること。
5. 青少年分野を担当する自国政府との連携強化を図ること。
6. 加盟国の大使館との連携強化を図ること。特に日本大使館との連携強化を図ること。
7. 日本人のコミュニティとの関係を深めること。

### 第2条

#### 我々の共通の任務

1. 地域若しくは世界規模で社会貢献、ボランティアの取組、発展的な取組につながるような活動を企画すること。
2. 自国の会員のネットワークを強化すること。
3. 自国の会員及び「世界青年の船」国際連盟加盟国の間で情報交換を強化すること。
4. 日本大使館とのコミュニケーションを図り定期的に活動報告をすること。
5. 「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年と新しい参加青年とのコミュニケーションを図ること。
6. これから「世界青年の船」事業及び後継事業に参加する青年を支援すること。
7. 既参加青年の正確な情報を把握し、保管すること。

## 第2章：原則

### 第3条

1. この組織の名前を「世界青年の船」国際連盟（Ship for World Youth Alumni Association International）とし、その略称をSWYAA国際連盟又はSWYAA Internationalと定める。
2. 「世界青年の船」国際連盟は認められた「世界青年の船」事後活動組織（SWYAA）で構成される団体である。

#### 第4条

「世界青年の船」国際連盟の基本原則を以下のとおり定める。

1. 「世界青年の船」国際連盟は
  - a. 非政府組織である。
  - b. 非営利組織である。
  - c. 非政治組織である。
  - d. 非宗教の組織である。
2. 「世界青年の船」国際連盟はそのすべての加盟国の主権平等の原則に基礎をおいている。
3. 「世界青年の船」国際連盟の加盟国は、この憲章に示されている義務を果たさなければならない。

#### 第3章：加盟国

##### 第5条

##### 加盟国の基本的条件

1. 「世界青年の船」国際連盟の加盟国は、「世界青年の船」事業及び（又は）後継事業に参加し、事後活動組織が設立されている国であること。
2. 各国は「世界青年の船」国際連盟に一つの事後活動組織（正式加盟又は準加盟）しか正式に登録することができない。
3. 加盟国になるための手順については、別途定める施行規則（IRR）に示される。（別添A）
4. 加盟国の正式認定、降格、除名については、加盟国によって決議される。詳細については施行規則に示される。
5. 加盟国は役員の交代があった時には事務局に連絡をしなければならない。

##### 第6条

##### 正式加盟国

1. 「世界青年の船」国際連盟に正式加盟できる団体は、別に定める「世界青年の船」事後活動組織ガイドライン（別添B）に沿って正式に設立した「世界青年の船」事後活動組織のみである。
2. 正式加盟国は「世界青年の船」国際連盟の定める使命と目標の達成のために積極的に努力しなければならない。
3. 正式加盟国は役員2名を「世界青年の船」国際連盟代表者ネットワークに登録する責任がある。
4. 正式加盟国は「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議において一国一票の議決権を持つ。
5. 正式加盟国は事務局が発信する「世界青年の船」事業と後継事業及び「世界青年の船」国際連盟に関連したすべての公式の情報を受け取る権利がある。
6. 正式加盟国はSWYAA国際大会を主催する権利がある。
7. 正式加盟国は事務局の要請に応じて年間活動報告書を提出する義務がある。
8. 正式加盟国は1万円又は100米ドルの年会費を支払う

義務がある。この年会費は前年の12月15日から30日の期間に支払うものとするが、これは前払いを妨げるものではない。

##### 第7条

##### 準加盟国

1. 「世界青年の船」事業及び（又は）後継事業の同窓生グループは、「世界青年の船」国際連盟の準加盟国として登録することができる。
2. 準加盟国は「世界青年の船」国際連盟代表者ネットワークに入ることができるが、「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議においての投票権はない。
3. 準加盟国は事務局が発信する「世界青年の船」事業と後継事業及び「世界青年の船」国際連盟に関連した限られた公式の情報を受け取ることができる。
4. 準加盟国は年間活動報告書及び（又は）活動計画書を提出することが望ましい。

##### 第8条

##### 非加盟国の既参加青年

1. 「世界青年の船」事業及び（又は）後継事業に参加をしたが、いかなる同窓生グループも結成されていない国は非加盟国となる。
2. 非加盟国に所属する個人の「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年は、SWY News（機関紙）及びメーリングリストを通じて、「世界青年の船」事業と後継事業及び「世界青年の船」国際連盟に関連した情報を受け取ることができる。

##### 第9条

「世界青年の船」国際連盟の正式加盟国は以下の26か国とする。

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. オーストラリア    | SWY Australia  |
| 2. バーレーン王国    | Ship for World Youth Alumni Association Bahrain                      |
| 3. ブラジル連邦共和国  | SWYAA Brasil   |
| 4. カナダ        | SWY Canada   |
| 5. チリ共和国      | Chile-SWYAA  |
| 6. コスタカ共和国    | Ship for World Youth Alumni Association Costa Rica                   |
| 7. エクアドル共和国   | Ship for the World Youth Alumni Association Ecuador                  |
| 8. エジプトアラブ共和国 | The Egyptian Alumni Association for the Ship for World Youth - EASWY |
| 9. フィジー共和国    | Ship for World Youth Alumni Association of Fiji                      |
| 10. ギリシャ共和国   | SWY GREECE Alumni Association  |

11. インド	SWYAA-INDIA
12. 日本国	International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO)
13. ケニア共和国	Ship for World Youth Alumni Association of Kenya
14. メキシコ合衆国	SWYAA Mexico
15. ニュージーランド	The Ship for World Youth New Zealand Incorporated
16. オマーン国	SWYAA Oman
17. ペルー共和国	SWYAA PERU
18. スペイン	Asociación de ex participantes del Barco de la Juventud Mundial
19. スリランカ民主 社会主義共和国	Ship For World Youth Alumni Association Of Sri Lanka
20. スウェーデン王国	SWYAA-Sweden
21. トンガ王国	Tonga Ship for World Youth Alumni Association
22. トルコ共和国	SWYAA TURKEY (Dünya Gençlik Gemisi Mezunlar Derneği)
23. アラブ首長国連邦	SWYAA UAE
24. 英国	SWY UK Alumni Association
25. ベネズエラ・ボリバル共和国	SWYAA Venezuela
26. イエメン共和国	Yemeni Ship for World Youth Alumni Association

「世界青年の船」国際連盟の準加盟国は以下の6か国とする。

1. ノルウェー王国	SWYAA Norway
2. パラグアイ共和国	SWYAA Paraguay
3. ロシア連邦	SWYAA Russia
4. ソロモン諸島	Ship for World Youth Alumni Association Solomon Islands
5. 南アフリカ共和国	SWYAA SOUTH AFRICA
6. タンザニア共和国	SWYAA TANZANIA

#### 第10条

##### 年間活動報告書

1. 年間活動報告書は翌年の1月末までに事務局へ提出すること。
2. 年間活動報告書の形式は「世界青年の船」国際連盟で定められたテンプレートに従うこと。
3. 年間活動報告書のテンプレートは12月に事務局から提供される。

#### 第11条

1. 「世界青年の船」事業機関誌「SWY News」は内閣府が発行し、日本青年国際交流機構(IYEO)が編集する。

2. 各国事後活動組織は、「SWY News」のために、依頼に基づいて少なくとも一つ、記事を提供する努力をすること。

#### 第4章：SWYAA国際大会

##### 第12条

##### 基本的ガイドライン

1. SWYAA国際大会はIYEOと「世界青年の船」国際連盟が主催し、実施国のSWYAAが共催と運営をする。
2. SWYAA国際大会は事後活動協議会と同時開催される。
3. 「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年とIYEOの会員は、誰でもSWYAA国際大会に参加することができる。

##### 第13条

##### SWYAA国際大会の主な目的

1. 参加国や参加回の異なる「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年が出会う機会を提供し、意見交換を通じて国際ネットワークの強化を図る機会とする。
2. 既参加青年が訪問国の文化と人々を知る機会とする。
3. 既参加青年がボランティア活動に参加し、社会貢献活動に参加する機会を提供する。
4. 世界各国で実施されている事後活動について情報交換をする機会とする。
5. SWYAA国際大会の開催や参加を通じてSWYAAの活性化を図る。

#### 第5章：議決機関

##### 第14条

1. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議が最高決定機関である。
2. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議は原則として「世界青年の船」国際連盟代表者ネットワーク上で開催される。
3. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議はこの憲章にある内容について再考し、提言又は決定をすることができる。
4. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の決議は加盟国の3分の2の議決をもって可決する。
5. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の決定は、各国SWYAAの自決権と独立の権利を侵害してはならない。
6. 各国の事後活動組織は会長から副会長又は事務局長の議決権の順番について、「世界青年の船」国際連盟への登録の際に決定し、事務局に報告しなければならない。また、年間活動報告書に最新の情報を掲載しなければならない。

## 第6章：事務局

### 第15条

#### 基本的な規則

1. 事務局は「世界青年の船」国際連盟の総務を担う。
2. 事務局は日本青年国際交流機構(IYEO)に設置する。
3. 事務局には事務局長、事務局次長と事務局が必要とする役割を置く。

### 第16条

事務局の役割は以下のとおり定める。

1. 「世界青年の船」事業と後継事業及び「世界青年の船」国際連盟に関連した情報を集約し発信する。
2. 加盟各国の年間活動報告書を回収し、その管理をする。
3. 会計管理をし、年に1回、「世界青年の船」国際連盟加盟国に会計報告をする。

### 第17条

#### 任期

1. 事務局長と事務局次長は「世界青年の船」事業又は後継事業の既参加青年でなければならない。
2. 事務局長と事務局次長は「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議を通じて、「世界青年の船」国際連盟に承認されなければならない。
3. 事務局長と事務局次長の任期は3年とし、再任を妨げない。

## 第7章：会計

### 第18条

#### 基本的な規則

1. 「世界青年の船」国際連盟の収入源は加盟国の会費と寄付である。
2. 上記以外の寄付、特別収入、協賛金の受取については「世界青年の船」国際連盟の目的を脅かすような条件や果たさなければならない責任がないことを確認するために事務局で検討する。
3. 「世界青年の船」国際連盟の収入は事務局で必要な経費に支出することができる。
4. 「世界青年の船」国際連盟の収入は「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の決定に基づいて、「世界青年の船」国際連盟の共通活動に支出することができる。

### 第19条

「世界青年の船」国際連盟の事業年度は1月1日から12月31日までとする。

## 第8章：規則

### 第20条

施行規則は、SWYAA国際連盟憲章に不可欠な付随資料である。施行規則の変更は、正式加盟国の3分の2の承認を得なければならない。

#### 付則

「世界青年の船」国際連盟への登録は「世界青年の船」事業及び後継事業への招へいとは関連しない。

#### 別添A

## 施行規則

第A-1条：「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の規定

1. 以下の議決は正式加盟国の3分の2以上の議決をもって可決する。
  - a. 「世界青年の船」国際連盟の正式加盟国への承認。
  - b. 「世界青年の船」国際連盟の加盟・準加盟の立場の降格。
  - c. 「世界青年の船」国際連盟からの除名。
  - d. 「世界青年の船」国際連盟憲章の改正。
  - e. その他、加盟国が提案した議題の承認。
2. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議は原則として1年に2回(5月と11月)に実施する。時期の変更がある場合は、事務局が1月に連絡をする。
3. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の投票期間は7日間とする。
4. 事務局は「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議

の特別会議の開催を要求することができる。

5. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議への議題は、審議のために、会議開催の30日以上前に事務局へ提出すること。

第A-2条：正式加盟国の条件

1. 「世界青年の船」国際連盟の正式加盟国になるためには、SWYAAは以下の要件を満たさなければならない。
  - a. 規約又は憲章がある。
  - b. 選任され、任期の定められた役員として、会長1名、副会長が少なくとも1名、事務局長及び(又は)会計係が1名いること。
  - c. 民主的で、包括的で、透明性のある選任プロセスがあること。
  - d. 会長又は副会長が自国に在住していること。
  - e. SWYAAの会員になるための明確なプロセスと条件があること。



2. 「世界青年の船」国際連盟の正式加盟国申請のために、SWYAAは以下の要件を満たしていることが望ましい。
  - a. 社会貢献活動を実施していること。
  - b. 調停と懲戒処分に関する規定があること。
  - c. 年間活動報告書を提出し、会員の最新の情報を提供できること。
  - d. 「世界青年の船」事業及び後継事業の新しい参加青年を支援し、出発・出航前の研修に関わっていること。
  - e. 自国の日本大使館、青少年団体、政府機関（該当があれば）と関係があること。
  - f. 自国の出身ではない既参加青年に対する入会規約を検討していること。
3. 「世界青年の船」国際連盟の加盟国承認の流れ（正式加盟・準加盟）
  - a. 事務局が用意する申請書を記入する。
  - b. 少なくとも2か国の正式加盟国から推薦を得る。
  - c. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議開催の少なくとも30日前に申請書と推薦書を事務局に提出する。
  - d. 加盟の承認の可否は次の「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議で決議される。

第A-3条：加盟国としての任務や責任を果たさなかった場合の措置と罰則

#### 手順

第1項：年間活動報告書の提出又は年会費の支払いが滞った場合の罰則を以下のとおり定める。

1. 事務局から警告を出し、SWYAAは3か月以内に応じることとする。

2. 3か月経っても対応がされなかった場合は、該当国は次の「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の投票権を失うと同時に、投票により降格すべきと判断される可能性がある（正式加盟国から準加盟国へ）
3. 降格となった場合、再び正式加盟国になるためには再申請の手続きを取らなければならない。
4. 降格とならなかった場合は、次の「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議から議決権を得る。

#### 罰則

第2項：「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議の投票に応じなかった場合の罰則を以下のとおり定める。

1. 投票に応じなかった場合、事務局から警告を出す。
2. 次の代表者議決会議でも投票に応じなかった場合、その次の代表者議決会議で投票により降格すべきと判断される可能性がある。

第A-4条：憲章改正のための投票の手順

1. 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議開催の少なくとも30日前に事務局に議題を提案する。
2. 提案は最終的な投票に持ち込む前に、正式加盟国の3分の1の承認を得なければならない。
3. 最終的な議決は、次の「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議で実施される。
4. 提案には現在の憲章に記されている表記と、改正内容に関する説明を必要とする。新しい条項の場合は、何章の何項に該当するのかを明記すること。
5. 憲章の改正を提案できるのは正式加盟国のみとする。
6. 事務局が憲章の改正を提案する場合は、3分の1の承認を得る必要はない。

第A-5条：用語と定義

用語(アルファベット順)	定義
Alumni group/同窓生グループ	自国に「世界青年の船」事後活動組織(SWYAA)を設立していない国における「世界青年の船」事業及び(又は)後継事業の既参加青年のグループ。
Alumni member/同窓生	自国のSWYAAの規約に従って会員と認められた「世界青年の船」事業及び(又は)後継事業の既参加青年。
Annual country report/年間活動報告書	各国のSWYAAが提出する、その国における1年間の活動や実施事業が記録された公式資料。
Charter/憲章	「世界青年の船」国際連盟の在り方や履行すべきことなどについての基本的なルールが記載されている文書。
Conference for Post-Program Activities/事後活動協議会	SWYAA国際大会開催期間中に実施される、事後活動について話し合う会議。
Former participants/ex-participating youth (ex-PYs)/既参加青年	「世界青年の船」事業又は後継事業を修了し、日本国政府内閣府より修了証を授与された個人。

用語(アルファベット順)	定義
Future activity plan/活動計画書	各国のSWYAAが提出する、今後の活動の提案や具体的な活動計画が書かれた公式資料。
Home country/自国	事後活動組織が属する国。
International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO)/ 日本青年国際交流機構	日本国政府内閣府が主催する青年国際交流事業に参加した日本人の既参加青年のための事後活動組織。
Post-program activities/事後活動	「世界青年の船」事業及び(又は)後継事業に参加した後に、既参加青年が関わることが期待されている社会貢献活動。
Secretariat/事務局	「世界青年の船」国際連盟の総務と会計の役割を担う事務局。
Secretary General/事務局長	自国のSWYAA又はSWYAA国際連盟の運営のための事務局責任者。事務局長は有給の場合も無給の場合もあり得る。
Ship for World Youth (SWY) program/「世界青年の船」事業	世界の青年の友好と協調と理解を深めることを目的とした日本国政府内閣府が主催する青年国際交流事業。
Ship for World Youth Alumni Association (SWYAA)/ 「世界青年の船」事後活動組織	自国の「世界青年の船」事業及び(又は)後継事業の既参加青年が結束して積極的に社会貢献活動に関わることを目的に作られた組織。
Ship for World Youth Alumni Association International (SWYAA International)/ 「世界青年の船」国際連盟	加盟を承認された「世界青年の船」事後活動によって構成される国際組織。
SWYAA International Representatives Network/ 「世界青年の船」国際連盟代表者ネットワーク	「世界青年の船」国際連盟の正式加盟国及び準加盟国で構成されるメーリングリスト。
SWYAA Global Assembly (SWYAA GA)/SWYAA国際大会	年に一度開催される「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年のための公式同窓会。
Voting Session of SWYAA International Representatives (VSIR)/ 「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議	「世界青年の船」国際連盟の正式加盟国に指名された各国の代表が、提案された議題について協議し、議決を採る公式な場。

別添B

## SWYAAガイドライン

### 第B-1条：基本的役割

1. 「世界青年の船」国際連盟憲章に基づいて、様々な社会貢献活動に寄与する。
2. 自国の会員の正確なデータベースを維持管理し、変更があった場合は「世界青年の船」国際連盟事務局へ連絡する。
3. 年間活動報告を提出し、機関誌「SWY News」に協力する。
4. 国内機関誌を定期的に発刊し配布する。機関紙のコピーを「世界青年の船」国際連盟事務局へ提供する。

5. 様々なコミュニケーション手段を利用して「世界青年の船」国際連盟加盟国の連絡体制を構築する。
6. 自国SWYAAの公式ホームページを一つ作成する。
7. 新参加青年の選考及び/又は準備と事前研修に協力する。

### 第B-2条：組織構成

1. 各国のSWYAAは自治権をもち、独立している。
2. 各国のSWYAAには民主的で、包括的で、透明性のあるプロセスで選任された会長1名がいること。
3. 各国のSWYAAには副会長1名又は2名と事務局長及び/又は会計係を選出するのが望ましい。



4. 会長又は副会長が自国に在住していること。
5. 各国のSWYAAは「世界青年の船」国際連盟代表者ネットワークに登録する代表2名を選出すること。そのうち1名は会長で、もう1名は副会長又は事務局長であることが望ましい。
6. 各国のSWYAAはその国の「世界青年の船」事業及び後継事業既参加青年や、自国の国籍を保持又は自国に居住している既参加青年から会員を募る努力をすること。会員には3種類ある。
  - a. 「世界青年の船」事業及び後継事業の既参加青年
  - b. 内閣府が主催する他事業の既参加青年
  - c. 事後活動組織の活動のボランティア

#### 第B-3条：管理体制 / 各担当

1. 会長の役割
  - a. 自国のSWYAAを代表するとともに、自国のSWYAAの統括に責任を持つ。
  - b. 国を代表して「世界青年の船」国際連盟代表者議決会議に参加する。
  - c. 国内の会員による社会貢献活動を活性化させる。
  - d. 日本大使館、「世界青年の船」国際連盟事務局、他国のSWYAAと連絡を取り合う。
  - e. 必要に応じて副会長や事務局長に任務を委任する。
  - f. 全ての記録を保管し、次の会長へ引き継ぐ。
  - g. 新しい役員が選出された際は、新しい役員名簿を事務局に連絡する。
2. 副会長の役割
  - a. 会長の補佐業務を行う。
  - b. 会長が役割を果たせない際には、その代役を務める。
3. 事務局長の役割
  - a. 会員の正確、かつ最新のデータを管理し、更新する。
  - b. 情報を受け取り、自国の会員に伝える。
  - c. 自国のSWYAAの活動記録を取る。
4. 会計の役割
 

会計の主な業務とは、自国のSWYAAの経理一般の管理である。その具体的な業務内容は以下のとおりである。

  - a. 会費の徴収
  - b. 会計管理と会計報告
  - c. 「世界青年の船」国際連盟の年会費の支払い

#### 第B-4条：会員と資格剥奪

1. 「世界青年の船」事業又は後継事業を修了すると、すべての既参加青年は自動的に自国のSWYAAの会員となる資格を得られる。
2. 各国のSWYAAが自国の会員規則と投票権について決定する。
3. 「世界青年の船」事業及び後継事業の原則として、SWYAAの国内での問題は、他で議論をされることはないが、以下のSWYAAの会員資格剥奪についてはきちんと検討されるべきである。
  - a. 既参加青年は以下のような一定の事由に基づく場合のみ自国のSWYAAの会員資格を剥奪される。
    - 1) 重大な犯罪による有罪判決
    - 2) 各国の關係に甚大な被害を与えるような行為
    - 3) 「世界青年の船」事業及び後継事業、SWYAA又は「世界青年の船」国際連盟の印象を傷つけるような行為
    - 4) 人種差別
    - 5) 深刻なハラスメント(セクシャルハラスメントを含む)
  - b. SWYAAの会員資格剥奪の決定は、いかなる個人で決められるものではなく、該当する国のSWYAAの役員の3分の2以上の投票によって決められる。
  - c. 参加資格を剥奪されるような会員が生じたSWYAAは、事件の詳細とともに行われた手続きについて、直ちに「世界青年の船」国際連盟事務局に報告しなければならない。
4. SWYAAの資格を剥奪された既参加青年は、その国のSWYAAの役員の3分の2以上の投票を得た場合に、再度、資格を得ることができる。
5. 自国のSWYAAの資格を剥奪された場合でも、「世界青年の船」事業又は後継事業の既参加青年であるという立場は変わらない。
6. 自国のSWYAAの資格を剥奪された既参加青年は、SWYAA国際大会に参加することができない。

# 1. SWYAA国際連盟とは

「世界青年の船」事業、グローバルリーダー育成事業、「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」(以後、「世界青年の船」及び後継事業)で培われた精神を継続させることを目的に、各国で既参加青年のための組織が設立されています。SWYAA国際連盟(Ship for World Youth Alumni Association International)は「世界青年の船」事業で培われた異文化理解、国際協力、国際平和の実現に向けてのリーダーシップ精神を推進し、支援しています。

# 2. 参加国

平成27年3月現在、正式加盟26か国、準加盟6か国が登録しましたが、非加盟の関係国を加えると46か国の国々が連携しながら、様々な社会貢献活動を展開しています。

# 3. 共通の使命と目標

1. 「世界青年の船」及び後継事業の既参加青年のネットワークを継続すること。
2. 加盟各国の友好関係を継続し、連携を強化すること。
3. 自国及び国際社会に貢献する活動に取り組むこと。
4. 自国及び加盟国において、社会に貢献するリーダーを育成すること。
5. 青少年分野を担当する自国政府との連携強化を図ること。
6. 加盟国の大使館との連携強化を図ること。特に日本大使館との連携強化を図ること。
7. 日本人のコミュニティとの関係を深めること。

# 4. 共通の任務

1. 地域若しくは世界規模で社会貢献、ボランティアの取組、発展的な取組につながるような活動を企画すること。
2. 自国の会員のネットワークを強化すること。
3. 自国の会員及び「世界青年の船」国際連盟加盟国の間で情報交換を強化すること。
4. 日本大使館とのコミュニケーションを図り定期的に活動報告をすること。
5. 「世界青年の船」及び後継事業の既参加青年と新しい参加青年とのコミュニケーションを図ること。
6. これから「世界青年の船」の後継事業に参加する青年を支援すること。
7. 既参加青年の正確な情報を把握し、保管すること。

# 5. 活動内容

「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議とは(通称:既参加青年会議 Ex-PY Conference)

原則年1回、内閣府が実施するSWYAA代表者のための会議。「世界青年の船」及び後継事業参加各国におけるSWYAAの形成・充実とそれを基盤とした各国内での事後活動の展開について情報交換を行うとともに、各国及び日本の既参加青年の有機的な連携による国際的ネットワークの構築に向けた討議を行うことを目的としています。具体的には、SWYAAのネットワークを使って行う社会貢献活動や今後の事後活動の方向性、そして既参加青年がどのように事業に貢献できるかなどを話し合います。

これまでの会議の結果、ホームステイ・ネットワークの構築、事業に協力する既参加青年の指導官の推薦、参加青年のための事前準備マニュアルやナショナル・リーダーのためのハンドブックの作成、事業を紹介するための広報用キット(プロモーション・キット)の作成、メーリングリスト使用のためのルール作り、そして、事業参加予定者のためにSWYAAが実施する事前研修のガイドライン作成、といった成果が挙がりました。また、国内と世界に広がる会員のネットワークを活用して文化交流を促進させるとともに、更なるネットワークの強化を目的とした「グローバル・フォト・コンテスト」も平成16年度より4回にわたって開催されました。このほか、平成17年度にはSWYAA共通のロゴを決めるコンテストを開催、平成18年度には異文化理解ハンドブックをデータ化し、ホームページへの掲載を始めました。また、広報用に使用できる公式ビデオ(10分版)も完成しました。平成19年度には「世界青年の船」20周年記念事業の一環として、「世界青年の船」事業の各回の歴史や情報を集約するホームページの作成、SWYカレンダーの作成、チャリティ・ランチの実施及び環境への貢献活動として、「世界青年の船の森」の植林に取り組むことなどが約束されました。平成20年度には国際支援活動として、ケニアで実施している国内避難民支援活動や、スリランカにおける就学支援に対して日本青年国際交流機構が協力することを約束しました。平成21年度から22年度にかけては、異文化理解教育のための教材を作ったり、「ホームステイ+1(プラスワン)」という名称でホームステイを受け入れながらボランティアなどの「+1(プラスワン)」の体験をさせたりする活動を広めることで合意しました。また、事業出身者でその後、功績を挙げた人の情報や、事業の意義について

での参加青年の声を集約する動きも始まりました。

SWYAA国際大会(通称:グローバル・アセンブリー)

運航中の「世界青年の船」事業の寄港地で開催していた既参加青年代表者会議(インターナショナル・リユニオン)を、平成19年度からはSWYAA国際大会(英語名称:SWYAA Global Assembly)に名称を変え、SWYAAの活動が活発な国で年1回実施するようになりました。この大会では、社会的な貢献活動を地域若しくは世界規模で推進し、またそのような活動を達成するための方策を協議する「事後活動協議会」を同時開催し、各国の事後活動の状況を集約し、成果を総括します。

- ・ 第1回SWYAA国際大会 ギリシャ(アテネ)  
(平成19年9月5日~9日)
- ・ 第2回SWYAA国際大会 日本(東京)  
(平成20年8月21日~24日)
- ・ 第3回SWYAA国際大会 オーストラリア(ブリスベン)  
(平成21年9月2日~6日)
- ・ 第4回SWYAA国際大会 エジプト(カイロ)  
(平成22年10月9日~12日)
- ・ 第5回SWYAA国際大会 メキシコ(メキシコシティ)  
(平成23年9月28日~10月2日)
- ・ 第6回SWYAA国際大会 パーレーン  
(平成24年10月4日~8日)
- ・ 第7回SWYAA国際大会 ペルー(リマ)  
(平成25年8月29日~9月2日)
- ・ 第8回SWYAA国際大会 トルコ(イスタンブール)  
(平成26年8月30日~9月3日)

SWY News

「世界青年の船」事業及び後継事業の事後活動関連の機関紙(英文)で、年1回発行。日本青年・外国青年を問わず、過去10年の既参加青年及び希望者に送付されています。各国のSWYAAの活動内容、既参加青年会議の議事報告、世界各地の既参加青年からの近況報告等の内容の記事が盛り込まれています。これまでに22号を発行しました。

メーリングリスト

既参加青年同士の連携を深めるために、メーリングリストが立ち上げられ、活用されています。メーリングリストには英語と日本語があり、以下の種類があります。

- ・ 日本人既参加青年全体の日本語メーリングリスト
- ・ 各年度の日本人既参加青年の日本語メーリングリスト
- ・ 「世界青年の船」及び後継事業の事後活動の関連のニュースを流すメーリングリスト
- ・ 既参加青年全体の英語メーリングリスト
- ・ 各年度の英語メーリングリスト
- ・ SWYAA国際連盟代表者のメーリングリスト

ホームページ

世界に広がるSWYAAの活動を活発化するため、コンピュータを利用したネットワークの強化が推進されています。各国で独自に立ち上げているホームページとリンクされたSWYAAのホームページにおいて、各国の活動やホームステイ・ネットワーク、リユニオンの開催など、様々な情報交換を行っています。

URL: <http://www.swyaa.org>

また、平成21年5月には、「世界青年の船」事業を一般に紹介するホームページも立ち上がりました。

URL: <http://www.shipforworldyouth.org>

SWYAA Directory (住所録)

「世界青年の船」及び後継事業既参加青年の住所録には、すべての既参加青年の氏名、住所、電話番号、ファックス、Eメール、興味のある分野等が掲載されています。この情報は既参加青年同士が連絡を取り合い、活動を推進していく際に役立てられています。

1. 「世界青年の船」事業既参加青年の国際的連携を目指して

昭和63年度（1988）に開始された「世界青年の船」事業は平成24年度（2012）には第25回を数え、平成25年度（2013）グローバルリーダー育成事業及び平成26年度（2014）に実施された「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」の参加青年を加えると、日本青年は計約3,070人、外国青年は63か国で約3,900人となっています。これら既参加青年たちは事業で得た貴重な体験をいかして、地域、職場、学校等において国際交流活動、青少年活動を活発に行うことが期待されているほか、日本と参加各国との間の友好親善の懸け橋としての役割も期待されています。

各国の既参加青年の事後活動は、当初は基盤となる組織や資金、そして活動のノウハウが乏しく、積極的な活動展開が難しい状態でした。しかし「世界青年の船」事業が回数を重ねるとともに既参加青年の層も厚くなり、情報が蓄積されたことと、インターネットの普及も影響して、グローバル・ネットワークの確立と社会貢献活動の活発化に向けて、少しずつ前進するようになりました。

寄港地、参加国共に固定されないという条件の下で、本格的な地球規模の活動を展開するための基盤の確立は難しい点もあると思われますが、国際連携組織の確立を目指しての活動を推進していきたいと考えています。

2. 始まりはギリシャから

この構想の具体化の第一歩として挙げられるのは、平成6年2月（1994）に第6回「世界青年の船」事業の寄港国ギリシャのピレウスで行われた一つの集まりでした。これは、第4回事業に参加をしたハンガリーとスウェーデンの青年たちが日本の第4回事業の既参加青年と連絡を取り合い、ピレウスに入港中の「世界青年の船」に集合したものです。事前の準備不足や資金不足、連絡の不徹底等によって、集まった人数は少人数にとどまり、具体的な会議も設定できない状況だったものの、今後の展開を図る上での貴重な経験となりました。

3. 「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議（インターナショナル・リユニオン）

このような経緯をたどり、正式のインターナショナル・リユニオンとして「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議（東廻りコース）が平成7年

（1995）3月2日～3日の二日間にわたり、メキシコのアカプルコに寄港中の第7回「世界青年の船」船上で開催されました。この会議には、寄港国メキシコの既参加青年を始めとして総計56人が参加し、親交を深めました。会議では、まず各国での事後活動組織の設立とそれを基盤とした各国内での活動の展開について議論が行われ、引き続いて日本と各国の事後活動組織の有機的な連携の方策と国際的なネットワークの構築について話し合われました。最後に、第1回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議の結果ということで、今後の活動に関する提案文が承認され、その後の組織化の第一歩が印されました。以後、インターナショナル・リユニオンは平成18年度（2006）年まで運航中の「世界青年の船」事業のいずれかの寄港地で開催されました。

インターナショナル・リユニオンは当初は船上で行う二日間のプログラムでしたが、平成12年度（2000）のニュージーランドでの開催からは船上会議と訪問国活動を含む四泊五日のイベントとなりました。これまでの実績として、メキシコのアカプルコで3回（1995, 1997, 1999）、アラブ首長国連邦のドバイで1回（1996）、オマーンのマスカットで1回（1998）、南アフリカのケープタウンで1回（1999）、ニュージーランドのオークランドで1回（2000）、カナダのバンクーバーで1回（2002）、タンザニアのダルエスサラームで1回（2004）、オーストラリアのシドニーで1回（2005）、そしてモリシャスのポートルイスで1回（2006）開催されました。平成13年（2001）10月についてはケニア、平成19年（2007）2月にはフィジーでの開催が予定されていましたが、それぞれ、「世界青年の船」事業の航路変更のため、中止となりました。

インターナショナル・リユニオンは平成19年（2007）より名称を「SWYAA国際大会（英語名称：SWYAA Global Assembly）」と変え、事後活動協議会との同時開催で訪問国活動と関連しない時期に実施するようになりました。

4. 「世界青年の船」事後活動組織（The Ship for World Youth Alumni Association: SWYAA）の設立

第1回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議（東廻りコース）に出席した第3回と第5回事業の既参加青年と第7回「世界青年の船」事業の参加青年によって「世界青年の船」事後活動組織についての原案がまとめられました。これを受け、第7回「世界青年の船」事業の船上においても熱心な討議が重ねら



れた結果、参加国ごとに3名のキーパーソンが決められ、今後のそれぞれの国における組織作りや各国との連携体制について定められました。その成果は、まず、エクアドルで事後活動組織が発足するという形となって現れ、その後も各国で次々と事後活動組織が設立されました。

5. 「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議（東廻りコース）の開催

第1回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議（東廻りコース）を受けて、各国の国内活動にとどまらず、本格的な既参加青年の国際的ネットワークを作ることを目指して、第1回「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議が平成8年（1996）1月16日～21日に東京で開催されました。

6. 「世界青年の船」事業既参加者（西廻りコース）の組織化

これまでは、東廻りコースの既参加青年の活動が先行していましたが、平成8年（1996）3月1日・2日の両日、アラブ首長国連邦のドバイ寄港中の第8回「世界青年の船」事業の船上において、既参加青年代表者会議（西廻りコース）が開催されるに至り、東廻りコースの活動状況が説明されました。また、平成9年（1997）1月16日から21日には、第2回「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議（西廻りコース）が開催されました。

7. SWYAA国際連盟設立へ

東西における事後活動組織の組織化の流れを受け、「世界青年の船」事後活動組織憲章の前身となる「世界青年の船」事後活動組織合意書（東）が平成8年（1996）1月にまとめられ、「世界青年の船」事業東廻り13か国が合意書に署名しました。翌年、「世界青年の船」事後活動組織合意書（西）がまとめられ、「世界青年の船」事業西廻り14か国が平成9年（1997）1月に合意書に署名しました。その後、平成17年（2005）にはすべての事後活動組織が共通の目標を持って活動に取り組むことを目的として、二つの合意書（東）と（西）は「世界青年の船」事後活動組織憲章という統一の憲章にまとめられました。

「世界青年の船」事後活動組織憲章は平成25年（2013）にSWYAA国際連盟憲章に改定され、「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議に参加した28か国が署名し、新しい憲章は平成26年（2014）1月1日に施行されました。（SWYAA国際連盟憲章はホームページ参照）

8. インターネットを活用した情報交換

情報の電子化に伴い、既参加青年同士の情報交換を活発化するため、平成8年度（1996）にメーリングリストを立ち上げました。また、平成11年度（1999）の既参加青年会議での話し合いを基に、平成12年度（2000）にSWYAA共通のホームページを立ち上げ、各国の活動をホームページ上で紹介するようになりました。そのほかにも、既参加青年全体で情報交換をする目的で、各種メーリングリストを立ち上げています。

## 1. 沿革

日本青年国際交流機構（International Youth Exchange Organization of Japan略称IYEO）は、昭和34年度から始まった内閣府（総務庁・総理府）が行ってきた青年国際交流事業「青年海外派遣」「青年の船」「東南アジア青年の船」「日伯青年親善交流」「日本・中国青年親善交流」「オマーン親善交流」「国際青年年記念青年海外特派員派遣」「日本・韓国青年親善交流」「世界青年の船」「国際青年育成交流」「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」「グローバルリーダー育成事業」「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」の各事業の参加青年で組織されており、会員数は15,600名に達しています。

沿革をたどると、昭和36年、青年海外派遣事業の既参加青年組織として「日本青年海外派遣青年会」が結成され、次いで昭和43年「青年の船」の既参加青年組織として「青年の船の会」が組織され、昭和60年には活動組織としての確立を目指して両者が統合し「日本青年国際交流機構」が発足しました。

## 2. 目的・組織

日本青年国際交流機構は、その規約に「青少年国際交流事業で得た成果を踏まえつつ、国際理解を深め、国際親善に寄与し、もって広く社会に貢献するとともに、会員相互の交流と研さんを図ることを目的とする」と規定し、この目的に沿った活動を行うために、各都道府県が実施している国際交流事業に参加した青年たちとも連携を取りながら全国47都道府県に都道府県国際交流機構があります。その名称

は、原則として「都道府県青年国際交流機構」ですが、伝統に基づいた独自名称を称している所や、都道府県事業の既参加青年との合同組織の場合には別名称を称している所もあります。また、47都道府県の各組織は、一般財団法人青少年国際交流推進センターの都道府県団体会員に登録されています。

## 3. 活動

日本青年国際交流機構の中央組織は、会員相互の交流を図り、都道府県での活動が円滑に行われるよう連絡調整の役割を果たすとともに、内閣府青年国際交流事業に参加した外国青年との連携強化を推進しています。

都道府県青年国際交流機構は、地域の国際交流活動の振興に寄与し広く社会への活動の輪を広げていくとともに、内閣府の行う青年国際交流事業の発展に協力することが主な活動です。

## 4. 充実・強化

日本青年国際交流機構では、青少年国際交流事業既参加青年の事後活動としての国際交流活動を一層発展させ、各地域での交流活動を充実、強化するために、ボランティアを強力に支援出来る体制の確立が不可欠であると考え、公益法人の設立を目指して長年にわたり取り組んできました。この趣旨が理解され、平成6年4月財団法人青少年国際交流推進センターの設立が許可されました。

日本青年国際交流機構は、同センターと密接な連携の下に、国際交流活動を基本とした社会に貢献しうる活動を目指しています。



1. 沿革

一般財団法人青少年国際交流推進センター（以下、センター）は、日本青年国際交流機構（以下、IYEO）会員によって設立された非営利組織です。IYEOは、日本政府による青年国際交流事業既参加青年が事後活動に取り組むために自主的に組織した団体です。IYEOは広く社会活動に取り組むために、法人設立に向けて取り組み、平成6年4月、その趣旨を日本政府に認められ、センターが設立されました。そして、平成25年4月1日に一般財団法人に移行しました。

2. 目的

センターは、青少年の国際交流活動の実施を通じて、各分野において指導的な役割を果たしうる青少

年を育成するとともに、これらの青少年による人的ネットワークの形成の促進、青少年の国際交流に関する情報提供、青少年の国際交流活動等に対する支援等の事業を行い、もって青少年の国際交流の推進を図り、国際化の進展する時代にふさわしい青少年の育成に寄与することを目的とする。

3. 事業の内容

1. 青少年国際交流事業の企画、実施及び協力
2. 青少年国際交流に関する啓発及び研修
3. 青少年国際交流に関する出版物の刊行
4. 青少年国際交流に関する情報収集及び調査研究
5. 青少年国際交流に関する支援、コンサルティング等
6. その他センターの目的を達成するために必要な事業

インターナショナル・リユニオンとSWYAA国際大会の年表

	開催地	開催日程	
第1回	メキシコ/アカプルコ	1995年 3月2日～3日	第1回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第2回	アラブ首長国連邦/ドバイ	1996年 3月1日～2日	第2回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第3回	メキシコ/アカプルコ	1997年 3月3日～4日	第3回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第4回	オマーン/マスカット	1998年 2月20日～28日	第4回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第5回	メキシコ/アカプルコ	1999年 2月23日～26日	第5回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第6回	南アフリカ/ケープタウン	1999年 10月3日～4日	第6回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第7回	ニュージーランド/オークランド	2000年 10月7日～11日	第7回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
		2001年	(ケニアでの開催予定が航路変更に伴いキャンセル)
第8回	カナダ/バンクーバー	2002年 11月24日～28日	第8回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第9回	タンザニア/ダルエスサラーム	2004年 2月8日～12日	第9回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第10回	オーストラリア/シドニー	2005年 1月31日～2月4日	第10回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第11回	モーリシャス/ポートルイス	2006年 2月11日～16日	第11回「世界青年の船」事業既参加青年代表者会議
第12回		2007年	(フィジーでの開催予定がキャンセル)

インターナショナル・リユニオンは2007年より名称を「SWYAA国際大会(グローバル・アセンブリー)」と変え、事後活動協議会との同時開催で訪問国活動と関連しない時期に実施するようになりました。

	開催地	開催日程	テーマ	概要	主な活動内容
第1回	ギリシャ/アテネ	2007年 9月5日～9日	既参加青年の 地域への貢献	2006年まで「インターナショナル・リユニオン」として開催されていた大会を、社会貢献活動に重点を置いた内容にリニューアルした。15か国から29名の既参加青年が参加し、18名のギリシャの既参加青年が運営に携わった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;社会貢献活動&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境啓蒙活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林保全と山火事防止を呼びかけるリーフレット配布活動</li> <li>講演:「環境災害時における市民の役割」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>&lt;事後活動協議会&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国の事後活動報告、今後の活動について</li> </ul> </li> <li>&lt;チャリティー・オークション&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギリシャ山火事のためのチャリティー・オークションの実施</li> <li>- 収益金:850ユーロ</li> </ul> </li> </ul>
第2回	日本/東京	2008年 8月21日～24日	SWY精神の 再燃	第1回SWYAA国際大会に引き続き、日本にて第2回SWYAA国際大会が開催され、9か国から50名の既参加青年が参加し、うち12名が運営に携わった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;社会貢献活動&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会コース <ul style="list-style-type: none"> <li>- 有機農園体験</li> <li>講演:「食と燃料のことから持続可能性を考える」</li> <li>講師:佐藤太</li> </ul> </li> <li>・コミュニティと青年コース <ul style="list-style-type: none"> <li>- NPOグリーンバード訪問</li> <li>講演:「地域での清掃活動」</li> <li>講師:NPOグリーンバード職員</li> </ul> </li> <li>- 大東文化大学視察</li> <li>講演:「高島平団地再生プロジェクト」</li> <li>講師:山本孝則</li> </ul> </li> <li>&lt;事後活動協議会&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動の事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 講演(講師:佐谷恭)</li> <li>- 国際支援プロジェクトの紹介</li> <li>ケニア支援プロジェクト、スリランカ就学支援プロジェクト</li> <li>- ワークショップ「自分たちで企業又はNGOを設立する」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>&lt;チャリティー・ランチ&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>- 収益金:93,040円</li> </ul> </li> </ul>
第3回	オーストラリア/ブリスベン	2009年 9月2日～6日	既参加青年の 社会貢献	6か国から27名の既参加青年が参加し、うち7名が運営に携わった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;社会貢献活動&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・クイーンズランド <ul style="list-style-type: none"> <li>講演:ボランティア・クイーンズランドの活動内容について</li> <li>講師:デイヴィット・ハム(ボランティア代表)</li> </ul> </li> <li>・アルバート・パーク・フレキシ・スクール訪問</li> <li>・ロイヤル・ブリスベン・アンド・ウィメンズ・ホスピタル(RBWH)訪問</li> </ul> </li> <li>&lt;事後活動協議会&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国の事後活動報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 世界青年のバス(Bus for World Youth = BWY)</li> <li>- 平和計画2008(Projects for Peace 2008)</li> <li>- ダンスで楽しむ(Dance for Fun)</li> </ul> </li> <li>・「世界青年の船」20周年記念事業活動報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 世界青年の船の森(SWY Forest)</li> <li>- サポート・ケニア・プロジェクト(Support Kenya Project)</li> <li>- スリランカ教育支援プロジェクト One More Child Goes to School</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>&lt;ファン・レーシング&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・RBWH基金(子供のメンタルヘルス研究)へのファン・レーシング・ディナー</li> <li>- 収益金:3,480オーストラリアドル</li> </ul> </li> </ul>

	開催地	開催日程	テーマ	概要	主な活動内容
第4回	エジプト/ カイロ	2010年 10月9日～12日	国際ユース年 対話と相互理 解	24か国から180名の既 参加青年が参加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回「世界青年の船」事業既参加青年であるDr. Sahar Hegazi氏を講師に迎え、「エジプトの若者が直面している問題」についての講義</li> <li>・訪問先             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)エジプトフードバンク</li> <li>2)ナディーン協会聴覚障害ユニット</li> <li>3)小児ガン病院</li> <li>4)ゲジーラ青少年クラブ</li> </ol> </li> <li>・事後活動協議会で提案されたプロジェクト             <ol style="list-style-type: none"> <li>1.環境保護プロジェクト</li> <li>2.SWYworld.netの普及</li> <li>3. 各国Bus for World Youthの実施</li> <li>4. 既参加青年東京連絡会議にて提案されたプロジェクトの普及</li> <li>5.SWY献血デー</li> <li>6.国際支援活動</li> <li>7.SWYAAハンドブック</li> <li>8.ワークショップの開催</li> <li>9.2011年カレンダーの作成</li> <li>10.既参加青年のビジネス評議会の結成</li> <li>11.異文化理解ハンドブックの作成</li> <li>12.SWYAA証言集プロジェクト</li> </ol> </li> </ul>
第5回	メキシコ/ メキシコシティ	2011年 9月28日～ 10月2日	既参加青年の 地域への貢献	15か国から69名が参加 し、うち20名が運営に携 わった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メキシコ政府外務大臣による講義「外交における青少年の重要性」</li> <li>・連邦議会議員との意見交換</li> <li>・訪問先             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)メキシコ国立人類学博物館</li> <li>2)世界文化遺産テオティワカン遺跡</li> <li>3)世界文化遺産ソチミルコ</li> <li>4)メキシコシティ市街地</li> <li>5)ルチャ・リブレ(メキシカン・プロレス)</li> </ol> </li> <li>・事後活動協議会(Part 1)での発表             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 事後活動の成功事例:メキシコ、日本、パーレーン、ペルー、エクアドル、オーストラリア</li> <li>- シャンタル・ペイダー基金の設立</li> </ul> </li> <li>・事後活動協議会(Part 2)にて提案されたプロジェクト             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 学校をつなぐプロジェクト</li> <li>- ソーシャル・メディア、ウェブサイトの効果的な利用</li> <li>- 地域ネットワークの強化</li> </ul> </li> </ul>
第6回	パーレーン	2012年 10月4日～8日	既参加青年の 地域への貢献	21か国から118名が参加 した。 これに加え、パーレーン からは20名が実行委員 として参加(うち17名が 既参加青年、3名が一般 のボランティア)。 開会式には30名のVIP (ナーセル殿下、ハー リド殿下、大臣、大使な ど)と約290名の参加が あった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式はアラッド要塞にて、ハマド国王の四男で青年スポーツ最高評議会議長であるナーセル殿下の後援を受けて盛大に開催された。</li> <li>・課題別視察             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 湾岸石油化学工業会社</li> <li>- パーレーン大学</li> <li>- ムハラク高齢者社会福祉センター</li> <li>- 女性最高評議会</li> </ul> </li> <li>・訪問先             <ul style="list-style-type: none"> <li>- パーレーン国立博物館</li> <li>- パーレーン要塞</li> <li>- 石油博物館訪問</li> <li>- F1サーキット</li> <li>- 王家馬術クラブ</li> <li>- コーラン博物館</li> <li>- アルファター・モスク</li> <li>- ムハラク旧市街地散策</li> </ul> </li> <li>・事後活動協議会             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 東京連絡会議の報告</li> <li>- 各国の事後活動報告</li> </ul> </li> </ul>
第7回	ペルー	2013年 8月30日～ 9月2日	既参加青年の 地域への貢献	18か国から108名が参加 した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事後活動協議会&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各国の事後活動報告</li> <li>- オーストラリア:SWY KIVAプロジェクト(マイクロファイナンス)</li> <li>- 日本:ちえれめいれプロジェクト(バングラデシュの教育支援)</li> <li>- ニュージーランド、トンガ:Island Leaders at Heart(青少年育成活動)</li> <li>- ペルー:Learn Live Loveプロジェクト(青少年育成活動)</li> <li>- ペルー:プロジェクト・ロマス(自然保護活動)</li> <li>- ベネズエラ:御縁 マラカイボ(日本とベネズエラの相互交流)</li> <li>- SWYAA国際連盟の新しい憲章についての説明</li> <li>- 第25回「世界青年の船」事業についての実施報告</li> </ul> </li> <li>&lt;社会貢献活動&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>- Aprendo Contigo(国立小児病院)</li> <li>- Lulay(青少年育成団体)</li> <li>- Proyecto Lomas(ペルーの自然と歴史を保全する団体)</li> </ul> </li> <li>&lt;課題別視察&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>- Fundo San Lorenzo(ビスコの酒造会社)</li> <li>- ペルー食文化体験</li> <li>- ペルー音楽体験</li> <li>- Arte Wari Peru(伝統工芸の工房)</li> </ul> </li> </ul>

	開催地	開催日程	テーマ	概要	主な活動内容
第8回	トルコ	2014年 8月30日～ 9月3日	既参加青年の 地域への貢献	26か国から153名が参 加した。	<p>&lt;事後活動協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各国の事後活動報告</li> <li>ニュージーランド:「ストーキング・ファイヤー(旧交を温める)2014」リユニオン</li> <li>日本:「IYEO概要」、「One More Child Goes To School」(IYEOスリランカ教育支援プログラム)、「IYEOチャレンジ・ファン」等</li> <li>ペルー:参加青年の選考方法・社会貢献活動について等</li> <li>オマーン:「SWYAAオマーン・デー」等</li> <li>インド:オープン・スクール等</li> <li>エジプト:日本大使館との交流・協力</li> <li>スウェーデン:SWY関連の事後活動に対する資金援助</li> <li>ロシア:「SWYトレイン」</li> <li>ギリシャ:環境啓蒙活動、「ホームステイ+1」、障害児支援団体等のスポーツイベント</li> <li>バーレーン:地域貢献活動、自己啓発活動、「Our World One World」プロジェクト、バーレーンの日本人コミュニティーとの交流、SWYAA国際大会(バーレーン)等</li> <li>スペイン:「南三陸の玉手箱」プロジェクトへの協力</li> <li>- 第2回「世界青年の船」事業リユニオン</li> </ul> <p>&lt;プリンス諸島訪問(クルーズ)&gt;</p> <p>&lt;課題別視察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高齢者施設訪問(高齢社会コース)</li> <li>- 「ダウン・カフェ」訪問(教育コース)</li> <li>- 医療廃棄物向上及び一般廃棄物(家庭廃棄物)処理場訪問(環境コース)</li> <li>- 「カナルトルコ」テレビ局訪問(メディアコース)</li> <li>- 「ピンク・エンジェルズ」(ユダヤ系トルコ人のボランティア団体)が活動する病院訪問(ボランティアと異文化理解コース)</li> <li>- 「YESAM料理アートセンター本部」訪問(芸術とトルコ文化コース)</li> <li>- ユルドゥズ工科大学訪問(教育コース)</li> </ul>

# Ship for World Youth Alumni Association International Charter

## Introductory Note

The purpose of the Ship for World Youth program, Global Leaders Development Program, and the Global Youth Leaders Development Program – the Ship for World Youth Leaders – (hereinafter, SWY program and its succeeding programs) sponsored by the Cabinet Office, Government of Japan, is to broaden the global view of the Japanese youth, to promote mutual understanding and friendship between Japanese and foreign youth as well as to cultivate the spirit of international cooperation and the competence to practice it. Furthermore, it fosters youth with the capability of showing leadership in various area of international society. In addition, this program aims at establishing networks and promoting joint activities among youth around the world through providing concrete and practical opportunities, the cohabitation and the joint activities during the SWY program, which is the epitome of international society with wide variety of cultures and ideas, to make a visible international contribution from the perspective of human resource development.

The predecessor of the Ship for World Youth Alumni Association (SWYAA) Charter was compiled as a SWYAA Agreement (East) signed by 13 countries of the eastern route of the Ship for World Youth program in January 1996. SWYAA Agreement (West) was signed by 14 countries of the western route of the Ship for World Youth program in January 1997.

In 2005, seeking to have a common mission for all the SWYAA member countries, a Ship for World Youth Alumni Association Charter was formed, revising and merging the two existing SWYAA Agreements from the East and the West.

The SWYAA Charter was then amended into the SWYAA International Charter on April 15, 2013 signed by 28 countries attending the Tokyo Conference for the Ex-Participating Youth of the Ship for World Youth Program.

The SWYAA International Charter shall come into effect on January 1, 2014.

## Preamble

Each country has an association for alumni participating youth, founded for the purpose of continuing the spirit

that was fostered through the SWY program and its succeeding programs. SWYAA International promotes and supports the spirit of leadership towards achieving cultural understanding, international cooperation and world peace developed during the SWY program and its succeeding programs.

## Amendments

Signed on April 15, 2013, effective on January 1, 2014

Voting Session for International Representatives in May 2014, effective on June 1, 2014

Voting Session for International Representatives in November 2014, effective on December 1, 2014

## Chapter I: Missions, Goals, and Tasks

### Article 1

Our common missions and goals are to:

1. Maintain the network of the former participants of the SWY program and its succeeding programs;
2. Sustain international friendship and strengthen cooperation among the member countries;
3. Engage in activities that contribute to the home country and the international society;
4. Support and develop leaders in the home country and member countries who will contribute to society;
5. Strengthen ties with the local government in charge of youth affairs;
6. Strengthen ties with the embassies of the member countries and especially the Japanese Embassy; and
7. Strengthen ties with the Japanese community.

### Article 2

Our common tasks are to:

1. Organize activities, locally and internationally, which would lead to social contribution, volunteer initiatives, and development initiatives;
2. Strengthen the network of members in the home country;
3. Enhance information exchange among members in the home country and the SWYAA International member countries;
4. Communicate with, and make periodic reports to, the Japanese Embassy;
5. Provide a means of communication for the former participating youth (ex-PYs) and present participating youth of the SWY program and its succeeding

programs;

6. Support future participants of the SWY program and its succeeding programs; and
7. Keep and maintain up-to-date information of alumni members.

## **Chapter II: General Rules**

### **Article 3**

1. The name of the organization shall be the Ship for World Youth Alumni Association International and its abbreviated name shall be the SWYAA International.
2. The SWYAA International is a body that is formed by the recognized Ship for World Youth Alumni Associations (SWYAA).

### **Article 4**

Fundamental principles of the SWYAA International shall be designated as follows:

1. SWYAA International shall not be:
  - a. Governmental;
  - b. For profit;
  - c. Political; and
  - d. Religious.
2. SWYAA International is based on the principle of general equality and rights.
3. Every member country of the SWYAA International shall abide by the obligations stipulated in this Charter.

## **Chapter III: Membership**

### **Article 5**

General guidelines for membership:

1. Member countries of the SWYAA International must be those who have participated in the SWY program and/or its succeeding programs and have established a SWYAA in their home country.
2. Each country is eligible to have only one formally recognized SWYAA (full or associate member) to the SWYAA International.
3. The procedure for becoming a member is defined in “Implementing Rules and Regulations (IRR)” provided separately (Annex A).
4. The process of formal recognition, demotion, and removal shall be attained by a vote of the member countries. This process is detailed in the IRR.
5. Member countries shall inform the Secretariat when there is a change of board members in the respective SWYAA.

### **Article 6**

Full membership:

1. SWYAA that are permitted to join the SWYAA International as a full member shall only be those who have formally established their SWYAA in accordance with the “SWYAA Guideline” provided separately (Annex B).
2. Full members should be actively seeking to accomplish the missions and goals of the SWYAA International.
3. Full members have the responsibility to register two representatives to the SWYAA International Representatives Network.
4. Full members have the voting responsibility of one vote per country at the Voting Session for the SWYAA International Representatives (VSIR).
5. Full members have the right to receive all official information related to the SWY program, its succeeding programs and the SWYAA International, which will be provided by the Secretariat.
6. Full members have the right to host the SWYAA Global Assembly.
7. Full members have the responsibility to submit an annual country report as requested by the Secretariat.
8. Full members are liable for an annual membership fee of 10,000 Yen or USD\$100 to be paid between December 15 and 31 for the membership fee of the following year, but the payment can be made in advance (remittance fee to be borne by the SWYAA).

### **Article 7**

Associate membership:

1. Alumni groups for the SWY program and/or its succeeding programs are permitted to register for the SWYAA International as an associate member.
2. Associate members have the right to join the SWYAA International Representatives Network, but will not have voting rights at the VSIR.
3. Associate members can receive limited official information related to the SWY program and its succeeding programs and the SWYAA International, which will be provided by the Secretariat.
4. It is preferable for associate members to submit an annual country report and/or future activity plan.

### **Article 8**

Former participants of non-member countries:

1. Countries that have participated in the SWY program and/or its succeeding programs that do not have any form of alumni group will be considered as non-



member countries.

2. Individual former participants of the SWY program and/or its succeeding programs who belong to non-member countries are eligible to receive information related to the SWY program, its succeeding programs and the SWYAA International through SWY News (annual newsletter) and mailing lists.

#### Article 9

The following 26 countries are full members of the SWYAA International:

1. Australia SWY Australia
2. Kingdom of Bahrain  
Ship for World Youth Alumni  
Association Bahrain
3. Federative Republic of Brazil  
SWYAA Brasil
4. Canada SWY Canada
5. Republic of Chile  
Chile-SWYAA
6. Republic of Costa Rica  
Ship for World Youth Alumni  
Association Costa Rica
7. Republic of Ecuador  
Ship for the World Youth Alumni  
Association Ecuador
8. Arab Republic of Egypt  
The Egyptian Alumni Association for  
the Ship for World Youth - EASWY
9. Republic of Fiji Ship for World Youth Alumni  
Association of Fiji
10. Hellenic Republic  
SWY GREECE Alumni Association
11. India SWYAA-INDIA
12. Japan International Youth Exchange  
Organization of Japan (IYEO)
13. Republic of Kenya  
Ship for World Youth Alumni  
Association of Kenya
14. United Mexican States  
SWYAA Mexico
15. New Zealand The Ship for World Youth New  
Zealand Incorporated
16. Sultanate of Oman  
SWYAA Oman
17. Republic of Peru  
SWYAA PERU
18. Spain Asociación de ex participantes del  
Barco de la Juventud Mundial

19. Democratic Socialist Republic of Sri Lanka  
Ship For World Youth Alumni  
Association Of Sri Lanka
20. Kingdom of Sweden  
SWYAA-Sweden
21. Kingdom of Tonga  
Tonga Ship for World Youth Alumni  
Association
22. Republic of Turkey  
SWYAA TURKEY (Dünya Gençlik  
Gemisi Mezunlar Derneği)
23. United Arab Emirates  
SWYAA UAE
24. United Kingdom SWY UK Alumni Association
25. Bolivarian Republic of Venezuela  
SWYAA Venezuela
26. Republic of Yemen  
Yemeni Ship for World Youth Alumni  
Association

The following 6 countries are associate members of the SWYAA International:

1. Kingdom of Norway SWYAA Norway
2. Republic of Paraguay SWYAA Paraguay
3. Russian Federation SWYAA Russia
4. Solomon Islands Ship for World Youth Alumni  
Association Solomon Islands
5. Republic of South Africa  
SWYAA SOUTH AFRICA
6. Republic of Tanzania SWYAA TANZANIA

#### Article 10

Annual country report:

1. An annual country report is to be submitted by each SWYAA to the Secretariat by the end of January of each year.
2. The format of this report must follow the template designated by the SWYAA International.
3. The template for the annual country report shall be provided by the Secretariat in December.

#### Article 11

1. SWY News is published by the Cabinet Office, Government of Japan, and edited by IYEO.
2. Each SWYAA should make an effort to contribute at least one article to the SWY News upon request.

## **Chapter IV: SWYAA Global Assembly**

### **Article 12**

General guidelines:

1. The SWYAA Global Assembly is hosted by the IYEO and the SWYAA International, and is co-hosted and coordinated by the SWYAA of the hosting country.
2. The SWYAA Global Assembly takes place in conjunction with the Conference for Post-Program Activities.
3. Any ex-PYs of the SWY program, its succeeding programs and IYEO members are eligible to participate in the SWYAA Global Assembly.

### **Article 13**

Main purposes of the SWYAA Global Assembly are to:

1. Provide an opportunity for ex-PYs of the SWY program and its succeeding programs, from various countries and different participating years to meet and; by sharing thoughts, strengthen their international alumni network;
2. Provide opportunities for ex-PYs to learn about the culture and people of the hosting country;
3. Provide opportunities to ex-PYs to be engaged in volunteer activities so that they can contribute to the society;
4. Share information about post-program activities that are taking place around the world; and
5. Revitalize the SWYAA by hosting or participating in the Global Assembly.

## **Chapter V: Decision Making Body**

### **Article 14**

1. Voting Session for the SWYAA International Representatives (VSIR) is the highest decision making forum.
2. VSIR shall basically take place at the SWYAA International Representatives Network.
3. VSIR shall review and make recommendations or decisions about any matter addressed in the Charter.
4. A decision at the VSIR shall be determined by a two-thirds of the votes of the member countries.
5. Decisions made by the VSIR shall not violate the right of self-determination and independence of the SWYAA members.
6. Each SWYAA shall designate the order of those who have voting rights, from the President to Vice President(s) and/or Secretary-General, and inform the Secretariat upon registering to the SWYAA International, as well as updating the information in the

annual country report.

## **Chapter VI: The Secretariat**

### **Article 15**

General rules:

1. The Secretariat shall execute the general affairs of the SWYAA International.
2. The Secretariat shall be established in the IYEO.
3. The Secretariat shall comprise a Secretary-General, a Deputy Secretary-General, and such staff as the Secretariat deems necessary.

### **Article 16**

The duties of the Secretariat shall be as follows:

1. To gather and disseminate information related to the SWY program, its succeeding programs and the SWYAA International;
2. To collect the annual country reports of the member countries and take charge of documentation; and
3. To manage financial affairs and make a financial report to the SWYAA International member countries once a year.

### **Article 17**

Term of service:

1. The Secretary-General and the Deputy Secretary-General must be former participants of the SWY program or its succeeding programs.
2. The Secretary-General and the Deputy Secretary-General shall be approved by the SWYAA International at the VSIR.
3. The Secretary-General and the Deputy Secretary-General shall hold their office for three years and they may be reappointed.

## **Chapter VII: Financial Affairs**

### **Article 18**

General rules:

1. The source of revenue of the SWYAA International shall be membership fees paid by the member countries and donations.
2. Receiving donations, special revenue, and sponsorship from other sources will be considered by the Secretary-General in order to confirm that there are no attached conditions or commitments that jeopardize the objectives of the SWYAA International.
3. Revenue of the SWYAA International shall contribute to the expenses needed for the Secretariat.
4. Revenue of the SWYAA International may contribute

to the expenses for common activities of the SWYAA International upon approval by the VSIR.

#### **Article 19**

The fiscal year of the SWYAA International shall begin on January 1 and end on December 31 of each year.

### **Chapter VIII: Rules and Regulations**

#### **Article 20**

The document on “Implementing Rules and Regulations

(IRR)” is an integral part of the SWYAA International Charter, and is annexed to this document. All changes to the IRR will necessitate a two-thirds vote of all full members.

#### **Miscellaneous Provisions**

Membership to the SWYAA International is not associated with a country’s invitation to the SWY program and its succeeding programs.

### **Annex A: Implementing Rules and Regulations (IRR)**

#### **Article A-1: Basic rules for the VSIR**

1. A two-thirds vote of all the current full members are needed to:
  - a. Be recognized as a new full member of the SWYAA International.
  - b. Demote a country’s membership from the SWYAA International.
  - c. Remove a country’s membership from the SWYAA International.
  - d. Make amendments to the SWYAA International Charter.
  - e. Approve other issues raised by the member countries.
2. There will be two sessions annually for voting (May and November). If the timing of the sessions were to change, the Secretariat will make an announcement in January of that year.
3. Each voting session will last for seven days.
4. A special voting session can be requested, which will be determined by the Secretariat.
5. A request for voting should be submitted to the Secretariat for consideration at least 30 days before the VSIR.

#### **Article A-2: Criteria for full membership**

1. To qualify for full membership to SWYAA International, a SWYAA must have:
  - a. A constitution or a charter;
  - b. An elected board comprising of one President, at least one Vice President, and one Secretary-General and/or Treasurer, who are in the position for a fixed term;
  - c. A democratic, inclusive, and transparent election process;
  - d. A President or a Vice President that is residing in the home country; and

- e. A clear process and criteria for becoming a SWYAA member.
2. In applying to be a full member of the SWYAA International, it is preferable that the SWYAA:
  - a. Is engaged in contribution activities to society;
  - b. Has arbitration and disciplinary procedures;
  - c. Has submitted annual country reports and provided up-to-date information on its alumni members;
  - d. Supports, and is involved in, pre-departure training of new participating youth of the SWY program and its succeeding programs;
  - e. Has relationships with the local Japanese Embassy, relevant youth organizations, and government agencies (where applicable); and
  - f. Considers addressing membership of ex-PYs not belonging to the home country.
3. Procedure for membership acceptance (full or associate):
  - a. Fill out an application form to be provided by the Secretariat.
  - b. Obtain at least two references from full members.
  - c. Submit the application form and references to the Secretariat at least 30 days before the VSIR.
  - d. Membership will be decided at the next VSIR.

#### **Article A-3: Sanctions and penalties for non-compliance of duties and responsibilities as a member country**

##### **Process:**

Item 1: The process for penalties for non-compliance of submission of the annual country report or payment of the annual membership fee shall be as follows:

1. The Secretariat will issue a warning and the SWYAA has three months to comply.
2. Should that three month period lapse without compliance, the SWYAA will lose its voting rights at the following voting session, and it

may be subject to a vote for demotion (full member to associate member).

3. If the SWYAA is demoted, the SWYAA must reapply to retain its full membership status.
4. If the SWYAA was not demoted, the voting right will be reinstated at the subsequent VSIR.

#### **Penalties:**

Item 2: Penalties for non-compliance of voting at the VSIR shall be as follows:

1. If a SWYAA fails to vote, the Secretariat will issue a warning.
2. If the SWYAA fails to vote in the following VSIR, it will be subject to a vote for demotion in the following VSIR.

#### **Article A-4: Voting procedures for amendments of the Charter**

1. Prepare proposition and submit to the Secretariat at least 30 days before the VSIR for inclusion in the agenda.
2. The proposition must have a one-third vote endorsement from full members in order to proceed to the final vote.
3. A final vote will be held at the following VSIR.
4. A proposition needs to include the current Charter text and the explanation of the proposed amendment. If it is a new text, it must specify what Chapter/Section it should be under.
5. Only full members can submit amendments to the Charter.
6. The Secretary-General will be able to suggest an amendment to the Charter without one-third vote endorsement.

#### **Article A-5: Definition and terms**

Terms	Definition
Alumni group	A group of former participating youth of the Ship for World Youth program and/or its succeeding programs who have not officially established a SWYAA in the home country.
Alumni member	Former participating youth of the Ship for World Youth program and/or its succeeding programs who is a recognized member of his/her SWYAA according to its internal rules for membership.
Annual country report	The official document issued by each SWYAA where the activities, programs and actions performed in a one-year period are described and submitted.
Charter	The document that establishes the basic rules for the existence and performance of the Ship for World Youth Alumni Association International.
Conference for Post-Program Activities	The conference that is held during the annual SWYAA Global Assembly to discuss about the post-program activities.
Former participants/ ex-participating youth (ex-PYs)	Individuals that have completed the SWY program or its succeeding programs, and were granted the certificate of completion issued by the Cabinet Office, Government of Japan.
Future activity plan	The official document issued by each SWYAA where proposed activities, programs and actions are outlined.
Home country	The country to which the Alumni Association belongs.
International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO)	An Alumni Association for the Japanese ex-participating youth of the international youth exchange programs sponsored by the Cabinet Office, Government of Japan.
Post-program activities	Social contribution activities that ex-PYs are expected to engage in after completing the SWY program and/or its succeeding programs.
Secretariat	The administrative entity in charge of general affairs and finance of SWYAA International.
Secretary-General	A principal officer of administration to manage national SWYAA or the SWYAA International. The Secretary-General may or may not be a paid staff.
Ship for World Youth (SWY) program	The international youth exchange program sponsored by the Cabinet Office, Government of Japan that aims to promote friendship, cooperation and understanding within the youth of the world.
Ship for World Youth Alumni Association (SWYAA)	The organization that unites the ex-participating youth of the SWY program and/or its succeeding programs in the home country to actively participate in social contribution activities.

Terms	Definition
Ship for World Youth Alumni Association International (SWYAA International)	An international body that is formed by the recognized SWYAA.
SWYAA International Representatives Network	The mailing list comprised of the full and associate members of the SWYAA International.
SWYAA Global Assembly (SWYAA GA)	The official annual gathering of former participants of the SWY program and its succeeding programs.
Voting Session of SWYAA International Representatives (VSIR)	The official forum where representatives designated by each full member of the SWYAA International to discuss and vote on proposed issue(s).

## Annex B: SWYAA Guideline

### Article B-1: General Tasks

1. Contribute to various social contribution activities based on the SWYAA International Charter.
2. Maintain an accurate national database of the members and inform the SWYAA International Secretariat of any changes to the national database.
3. Submit an annual country report and contribute to the annual SWY News.
4. Regularly publish and distribute a national newsletter. A copy of this newsletter should be provided to the SWYAA International Secretariat.
5. Develop a network among SWYAA International member countries through various communication tools.
6. Create one official website for the national SWYAA.
7. Involve in the selection process and/or preparation and training of the new Participating Youths (PYs).

### Article B-2: Organizational Structure

1. Each national SWYAA is autonomous and independent.
2. Each national SWYAA must have one President who was elected through a democratic, inclusive, and transparent election process.
3. It is advisable for each national Alumni Association to have one or two Vice President(s), a Secretary-General and/or Treasurer.
4. One of the President or the Vice President should reside in his/her home country.
5. Each national SWYAA must have two representatives who shall be registered to the SWYAA International Representatives Network: one should be the President and the other should preferably be the Vice President or the Secretary-General.
6. Every attempt should be made to seek active membership from past participants of the SWY program

and its succeeding programs who are citizens of and/or residing in the home country. There are three types of members:

- a. Ex-PYs of the SWY program and its succeeding programs
- b. Ex-PYs of any other program sponsored by the Cabinet Office, Government of Japan
- c. Volunteer members of the SWYAA activities

### Article B-3: Management and Duties

#### 1. Duties of President

- a. Represent the national SWYAA and to be responsible for overall management of the national SWYAA.
- b. Represent the country at the Voting Session of SWYAA International Representatives.
- c. Activate social contribution activities by the members of the country.
- d. Maintain contact with the Japanese Embassy, SWYAA International Secretariat and other SWYAAs.
- e. Delegate duties to the Vice President(s) and/ or to the Secretary-General as necessary.
- f. Maintain and pass on all archived information to successive President.
- g. Inform the Secretariat of the new board members when the new board members were elected.

#### 2. Duties of Vice President

- a. Provide support to the President.
- b. Stand in for the President in the event that the President is unable to fulfill his or her duties.

#### 3. Duties of the Secretary-General

- a. Ensure an accurate and up to date list of members and their contact information is maintained.
- b. Receive and transmit information to the national

SWYAA.

- c. Keep documentation of the national SWYAA activities.

#### **4. Duties of Treasurer**

The main responsibility of the Treasurer is to manage the financial affairs of the national SWYAA. This means:

- a. To collect membership fees;
- b. To maintain financial records and provide an annual financial report; and
- c. To pay the annual membership fee to the SWYAA International.

#### **Article B-4: Membership and Disqualification**

1. Every ex-PY shall automatically be qualified to become a member of his/her respective SWYAA upon completing the SWY program or its succeeding programs.
2. Local SWYAA will determine the membership and voting eligibility status of its members.
3. As per the general principles of the SWY program and its succeeding programs, national issues of the SWYAA will not be discussed through other channels. However, the following shall thoroughly be taken into consideration in terms of disqualification of an ex-PY from his/her respective SWYAA:
  - a. An ex-PY can only be disqualified as SWYAA

member by his/her respective SWYAA based on certain grounds such as:

- 1) Conviction from serious criminal offence;
  - 2) Committing acts that severely damage the relations of the countries;
  - 3) Harm the image of SWY program and its succeeding programs, SWYAA or SWYAA International;
  - 4) Racist activities; or
  - 5) Any kind of serious harassment (including sexual harassment)
- b. The decision to disqualify an ex-PY as member of the SWYAA shall not be made by any individual, but by a two-thirds majority vote of the board of the respective SWYAA.
  - c. The concerned SWYAA must immediately formally inform the SWYAA International Secretariat of such disqualification with a detailed explanation of the incident and the procedures that were undertaken.
4. An ex-PY who was disqualified by his/her respective SWYAA, may be re-admitted through a two-thirds majority vote of the board of the respective SWYAA.
  5. Even if the person is disqualified from the national SWYAA, the status of the person being an ex-PY of the SWY program or its succeeding programs still remains.
  6. A member that was disqualified from the national SWYAA will not be able to participate in the SWYAA Global Assembly.



## 1. Ship for World Youth Alumni Association International (SWYAA International)

Each country has an association for alumni members, founded for the purpose of continuing the spirit that was fostered through the SWY program, Global Leaders Development Program (GLDP), and Ship for World Youth Leaders (SWY) – hereinafter, SWY and its succeeding programs. SWYAA International promotes and supports the spirit of leadership towards achieving cultural understanding, international cooperation and world peace developed during the SWY and its succeeding programs.

## 2. Participating Countries

As of March 2015, 26 countries registered as full members, 6 countries as associate members, and include those who have not yet officially registered, there is a network of a total of 46 countries around the world that are involved in various social contribution activities.

## 3. Our Common Missions and Goals

- a) Maintain the network of the ex-PYs of the SWY program and its succeeding programs;
- b) Sustain international friendship and strengthen cooperation among the member countries;
- c) Engage in activities that contribute to the home country and the international society;
- d) Support and develop leaders in the home country and member countries who will contribute to society;
- e) Strengthen ties with the local government in charge of youth affairs;
- f) Strengthen ties with the embassies of the member countries and especially the Japanese Embassy; and
- g) Strengthen ties with the Japanese community.

## 4. Our Common Tasks

- a) Organize activities, locally and internationally, which would lead to social contribution, volunteer initiatives, and development initiatives;
- b) Strengthen the network of members in the home country;
- c) Enhance information exchange among members in the home country and the SWYAA International member countries;
- d) Communicate with, and make periodic reports to, the Japanese Embassy;
- e) Provide a means of communication for the ex-

PYs and present participating youth of the SWY program;

- f) Support future participants of the SWY program; and
- g) Keep and maintain up-to-date information of alumni members.

## 5. Details of Activities

### a) Ship for World Youth Alumni Association Tokyo Conference (Ex-PY Conference)

This annual conference is sponsored by the Cabinet Office, the Japanese Government, and is attended by SWYAA representatives. The purpose of this conference is to exchange information on the development of post-program activities, as well as the structure and depth of each country's SWYAA, which provide the foundation for such activities. An additional objective of the conference is to have discussions to develop an international network of holistic ties between each country and the IYEO in Japan. Basically, participants discuss how the SWYAA network can be used in activities for the betterment of society, future directions of post-program activities, and how ex-PYs can contribute to the programs.

To date, the results of past conferences include: the development of a homestay network; recommendation to have ex-PYs as advisors on the SWY program; development of a preparatory manual for PYs prior to the program or the handbook for National Leaders; development of a promotional kit to introduce the SWY program; setting up rules for the use of mailing list; and writing down a guideline which SWYAA members can use to conduct pre-departure orientation session for the new participants of the coming SWY program. The "Global Photo Contests" were organized four times starting from 2004 to promote cultural exchange and to strengthen the alumni network locally and globally. In 2005, a logo contest was launched to decide the common logo for SWYAA. In 2006, Handbook for Cultural Understanding was revised into a digital form to be uploaded on the website, and an official video of SWY program (10 minutes version) was created which can be used for promotion of the program. In 2007, in order to commemorate the 20th anniversary of

SWY in 2008, it was agreed to work on collecting history of each SWY batch on the website (SWY History on Website), SWY Calendar, implement Charity Lunch, and contribute to the environment by planting “SWY Forest” in various countries. In 2008, as part of the international relief activities, IYEO began its cooperation with the project in Kenya (humanitarian support to the Internally Displaced Persons) and the educational assistance project in Sri Lanka (One More Child Goes to School Project). From 2009 to 2010, it was agreed to compile a material for cross-cultural understanding education, and to jointly work on a project under the name “Homestay + 1” where homestay recipients are encouraged to organize volunteer activity so that the visitor can experience something extra (“plus one” experience). Also, movement to collect information on ex-PYs with prominent background or to collect testimonials about the meaning of the SWY program started.

#### **b) SWYAA Global Assembly (GA)**

International Reunion, which was held at a port of call on the SWY program route, was reformed into SWYAA Global Assembly from 2007. Any active SWYAA is given an opportunity to hold an annual Global Assembly, which is not merely an international reunion for the ex-PYs, but also a forum to discuss about post-program activities and how to promote social contribution activities locally and internationally. Conference for Post-Program Activities is an opportunity for the participants to understand about the activities taking place in different countries, and also to share the outcomes.

- The 1st GA – Athens, Greece  
(September 5 to 9, 2007)
- The 2nd GA – Tokyo, Japan  
(August 21 to 24, 2008)
- The 3rd GA – Brisbane, Australia  
(September 2 to 6, 2009)
- The 4th GA – Cairo, Egypt  
(October 9 to 12, 2010)
- The 5th GA – Mexico City, Mexico  
(September 28 to October 2, 2011)
- The 6th GA – Bahrain  
(October 4 to 8, 2012)
- The 7th GA – Lima, Peru  
(August 29 to September 2, 2013)
- The 8th GA – Istanbul, Turkey  
(August 30 to September 3, 2014)

#### **c) SWY News**

This is an in-house paper published annually in English, focusing specifically on the post-program activities of the SWY program and its succeeding programs. Regardless of whether one is Japanese or an overseas participant, alumni from the previous 10 programs, as well as subscribers receive this paper. SWY News is filled with articles on details of post-program activities in various countries, a report of the SWYAA Ex-PY Conference proceedings, and the latest news of ex-PYs from all over the world. Thus far, 22 issues have been published.

#### **d) Mailing Lists**

In order to deepen the connections between the ex-PYs, electronic mailing lists have been established and are actively used. There are English and Japanese lists, and they include the following:

- Japanese mailing list for all Japanese ex-PYs
- Japanese mailing lists for Japanese ex-PYs from each year
- Mailing list for distribution of SWY program and its succeeding programs and its related news and post-program activities
- English mailing list for all ex-PYs (English)
- English mailing lists for each year (English)
- Mailing list for SWYAA International representatives

#### **e) Website**

In order to stimulate the activities of the SWYAA that are spreading throughout the world, strengthening networks through the use of computers has been encouraged. Through linking each country's websites with the SWYAA main website, various information sharing and exchange about activities of respective country, homestay networks and reunions has been taking place. URL: <http://www.swyaa.org>

Another website was created in May 2009 to introduce the SWY program to public. URL: <http://www.shipforworldyouth.org>

#### **f) SWYAA Directory**

In the SWYAA directory, the name, address, phone number, fax number, e-mail address and area of interest of all ex-PYs are listed. This information is useful for alumni to get in touch with one another and promote their activities.

## The Movement to Establish a SWYAA and Its History

### 1. Building an International Network of Ship for World Youth Ex-Participating Youth

The Ship for World Youth (SWY) program began in 1988, marked its 25th voyage in 2013 (fiscal year 2012), and including the participants of the Global Leaders Development Program (fiscal year 2013) and the Ship for World Youth Leaders (fiscal year 2014), over the years, approximately 3,070 Japanese youth and 3,900 youth from 63 overseas countries have participated in the program. It is hoped that all these ex-PYs will make use of the valuable experience they gain through the program, to engage in international exchange activities and youth development in their community, work place and school. It is hoped that by participating in youth activities, they will build bridges of friendship and goodwill between Japan and their respective countries.

At first, the structure, capital and know-how to provide the foundation for alumni post-program activity in each country were scarce. However, with each subsequent SWY program, the depth and breadth of the alumni have increased, and as more information has been gathered and the effects of the Internet spread, slow but sure progress could be seen towards inspiring social contribution activities in each country, and building a global network.

Since the ports of call and the participating countries are not fixed, the capacity to build the foundation necessary for real activism on a global scale is difficult. It is nevertheless thought that it is important to proceed towards a structure of international networks.

### 2. The Beginning: Greece

The fundamental first step towards this vision took place at a gathering in February 1994, during the 6th SWY program in Piraeus, Greece, a port of call. Through correspondence with Japanese alumni from the 4th program, ex-PYs from Hungary and Sweden converged at the docked Nippon Maru. Because of lack of preparation, funds, limited correspondence etc., ultimately, only a few people were able to assemble, making it impossible to even plan a meeting. Nonetheless, the experience proved invaluable for planning in the future.

### 3. The Ship for World Youth International Reunion

Building on our past experience, the first official Ship for World Youth International Reunion (eastern route) was held over two days in Acapulco, Mexico from March

2nd to 3rd, 1995, on board the 7th SWY program. At this gathering, a total of 56 people, including the Mexican ex-PYs, participated and deepened their friendships with one another. During the meetings, each country discussed the development of their Alumni Association and the various activities that could be organized through this association. This was followed by a dialogue about how to develop multiple and holistic ties between each country and Japan, and to build an international network. Lastly, as an outcome of this gathering, it was agreed to submit a proposal for future activities, symbolizing the first step in the development of the Alumni Associations. After this first reunion in Mexico, the International Reunions have taken place at one of the ports of call of during subsequent SWY programs until 2006.

Although in the beginning, it was a 2-day program that was held on board the ship, as of 2000 in New Zealand, it has become an event that spans 5 days and 4 nights, and includes discussions on board and activities in the port of call. Altogether, the International Reunions have been held three times in Acapulco, Mexico (1995, 1997, 1999), once in Dubai, United Arab Emirates (1996), once in Muscat, Oman (1998), once in Cape Town, South Africa (1999), once in Auckland, New Zealand (2000), once in Vancouver, Canada (2002), once in Dar es Salaam, Tanzania (2004), once in Sydney, Australia (2005), and once in Port Louis, Mauritius (2006). For October in 2001, a reunion was planned in Kenya, and for February in 2007 in Fiji, but due to a change in the sailing routes for the SWY programs, the events were cancelled.

Starting from 2007, International Reunion changed its name to the SWYAA Global Assembly (GA), and became an event that includes the Conference for Post-Program Activities. Thereafter, location for GA is not associated with the port of call countries.

### 4. The Founding of the Ship for World Youth Alumni Association

The original document outlining the SWYAA was compiled by ex-PYs from the 3rd and 5th programs who attended the 1st Ship for World Youth International Reunion (eastern route), and the members of the 7th SWY program. Following this, heated discussions took place on board the 7th SWY program resulting in the selection of 3 Key Persons per participating country, and decisions regarding the establishment of SWYAAs in their

respective countries, and their positions on networking and maintaining ties. Consequently, Ecuador demonstrated their decision to launch SWYAA Ecuador, and several other countries followed suit.

### **5. The Commencement of the SWYAA Tokyo Conference (Eastern Route)**

Following the guidelines set during the 1st Ship for World Youth International Reunion, the 1st Tokyo Conference for the Ex-Participating Youth of SWY Program (hereafter, Tokyo Conference – later changed its naming to Ex-PY Conference) was held from January 16th to 21st, 1996, with the purpose of not just promoting activities within each country, but also to build a concrete international network among the ex-PYs.

### **6. Organizing the Ex-PYs (Western Route)**

Up to this point, the activities of the ex-PYs from the eastern route had been progressing. However, on March 1st and 2nd, 1996, on board the 8th SWY program in Dubai, a conference was held for the ex-PYs of the western route, during which time, the activities of the eastern route participants were explained. Furthermore, from January 16th to 21st, 1997, the 2nd Tokyo Conference (western route) was held.

### **7. The Institutionalization of the SWYAA Network**

With a continuing flow of the institutionalization of the SWYAA network, the predecessor of the SWYAA Charter was compiled as a SWYAA Agreement (East) signed by 13 countries of the eastern route of the SWY program in January 1996. SWYAA Agreement (West) was signed by 14 countries of the western route of the SWY program in January 1997. In 2005, seeking to have a common mission for all the SWYAA member countries, the SWYAA Charter was formed, revising and merging the two existing SWYAA Agreements from the East and the West.

The SWYAA Charter was then amended into the SWYAA International Charter in 2013 signed by 28 countries attending the Tokyo Conference for the Ex-Participating Youth of the Ship for World Youth Program and this new charter came into effect on January 1, 2014. (Refer to the website for the SWYAA International Charter)

### **8. Exchanging Information Through the Internet**

Mirroring the move towards electronic information, a mailing list was set up in 1996 to encourage sharing of information and resources among the ex-PYs. Furthermore, based on the Ex-PY Conference held in 1999, a common SWYAA website was developed in 2000, which provided a forum to introduce various projects and activities taking place in different countries. In addition to this, there have been many mailing lists set up for ex-PYs to share information on a variety of topics.

## 1. History

The International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO) was established in 1959 by ex-Participating Youth (ex-PYs) of international youth exchange programs sponsored by the Cabinet Office of the Japanese Government. Among those programs were the Japanese Youth Goodwill Mission, the Japanese Goodwill Cruise, the Ship for Southeast Asian Youth, the Japan-Brazil Youth Friendship Exchange, the Japan-China Youth Friendship Exchange, the Friendship Mission to Oman, the International Youth Year - Japanese Youth Corresponding Goodwill Mission to Overseas, the Japan-Korea Youth Friendship Exchange, the Ship for World Youth, the International Youth Development Exchange, the Young Core Leaders of Civil Society Groups Development Program, the Global Leaders Development Program, and the Ship for World Youth Leaders. The IYEO members number up to approximately 15,600.

In 1961, the Seiyu-kai began its operation as an Alumni Association for ex-PYs of the Japanese Youth Goodwill Mission. In 1968, Seinen-no-fune-no-kai was organized by ex-PYs of Japanese Youth Goodwill Cruise. In 1985, to consolidate the position as an active organization, Japanese Youth Goodwill Mission Seiyukai and Seinen-no-fune-no-kai were united into the International Youth Exchange Organization of Japan.

## 2. Purpose and Organization

The IYEO prescribes its code, “Based on the resources gained from international youth exchange programs, the IYEO deepens international understandings and contributes to international friendship. Through the activities, the IYEO renders services to society in wider fields and strives for mutual exchange among members and study for members.” In order to achieve this goal, there exist 47 local organizations in all the 47 prefectures in coordination with the youth who participated in international exchange programs

organized by prefectural governments. In most cases, these organizations operate as International Youth Exchange Organization of the respective prefecture. However, some groups use their original names or are under different names when they were united with an Alumni Association of international youth exchange programs sponsored by their local bodies. All of the organizations in the 47 prefectures are registered as member organizations of the “Center for International Youth Exchange” which is a non-profit organization.

## 3. Activities

The headquarters of IYEO promote mutual understanding and communication among members and helps prefectural organizations to perform various activities smoothly. At the same time, it aims to strengthen ties with foreign ex-PYs of the international youth exchange programs sponsored by the Cabinet Office.

The main activities of each prefectural organization are to contribute to the promotion of international youth exchange in the local district, to widen the extent of its social services, and to cooperate for the improvement of international youth exchange programs sponsored by the Cabinet Office, Japanese Government.

## 4. Reinforcement

The IYEO holds a system to actively support the post-program activities as well as local activities that ex-PYs voluntarily engage in so as to enrich international exchange. The IYEO has long been making efforts to be appointed as a legal body. Its purpose was recognized and the establishment of Center for International Youth Exchange was permitted by the Japanese Government in April 1994.

From now on, the IYEO will actively take part in international exchange activities in a close cooperation with Center for International Youth Exchange so as to contribute to the society.

## Outline of Center for International Youth Exchange (CENTERYE)

### 1. History

The Center for International Youth Exchange (hereafter, CENTERYE) is a nonprofit organization, which was established by the member of the International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO). IYEO is a volunteer organization that actively supports the post-program activities of former participants of international youth exchange programs sponsored by the Japanese Government. In April 1994, CENTERYE was established being authorized by the Japanese Government as a result of IYEO's collective efforts to be a civil code corporation for the purpose of undertaking social activities in broader sense.

### 2. Mission

The mission of the CENTERYE is to promote international youth exchange among youth and to contribute to the nurturing of youth who can play an integral role in a globalizing society, organizing international youth exchange programs for youth

development who play leading roles in various fields, promoting to establish human networks among them and providing information related to the international youth exchange, as well as carrying out projects to support international youth exchange programs.

### 3. Program activities

- 1) Planning, implementation and/or cooperation in holding international youth exchange programs;
- 2) Raising awareness and conducting training for international youth exchange;
- 3) Publishing documents concerning international youth exchange;
- 4) Gathering information and conducting studies and research on international youth exchange;
- 5) Supporting and consulting-related activities for international youth exchange;
- 6) Carrying out programs to achieve other objectives of CENTERYE.



## Timeline of the SWY Programs and SWYAA Conferences

Year	Date	Programs
1989	Jan.-Mar.	<b>1st Ship for World Youth Program</b>
1990	Jan.-Mar.	<b>2nd Ship for World Youth Program</b>
1991	Jan.-Mar.	<b>3rd Ship for World Youth Program</b>
1992	Jan.-Mar. December	<b>4th Ship for World Youth Program</b> 1st Edition of SWY News 1st Version of SWY Directory
1993	Jan.-Mar.	<b>5th Ship for World Youth Program</b>
1994	Jan.-Mar. February March	<b>6th Ship for World Youth Program</b> <b>Reunion (unofficial) in Greece (Pireas)</b> 2nd Edition of SWY News 2nd Version of SWY Directory
1995	Jan.-Mar. Mar. 2-3   October	<b>7th Ship for World Youth Program</b> <b>1st International Reunion (Acapulco, Mexico)</b> * Establishment of SWYAA for east course countries (mainly by SWY7) <Participating Countries> Australia, Brazil, Canada, Colombia, Costa Rica, Dominican Republic, Ecuador, Fiji, New Zealand, Solomon, USA, Venezuela 3rd Edition of SWY News
1996	Jan.16-21  Jan. 19 Jan.-Mar. Mar.1-2   November	<b>1st SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Brazil, Canada, Colombia, Costa Rica, Dominican Republic, Ecuador, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Solomon, USA, Venezuela * Adoption of SWYAA Agreement (East) <b>8th Ship for World Youth Program</b> <b>2nd International Reunion (Dubai, UAE)</b> * Establishment of SWYAA for west course countries (mainly by SWY8) <Participating Countries> Bangladesh, Belgium, Egypt, Finland, Greece, Kenya, Kuwait, Norway, Oman, Qatar, Poland, South Africa, Sri Lanka, Sweden, Tanzania, UAE, UK, Yemen 4th Edition of SWY News
1997	Jan. 16-21  Jan. 20 Jan.-Mar. Mar. 3-4 December	<b>2nd SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bangladesh, Belgium, Egypt, Finland, Greece, Japan, Kenya, Norway, Oman, Poland, Qatar, South Africa, Sri Lanka, Sweden, Tanzania, UAE, UK, Yemen * Adoption of SWYAA Agreement (West) <b>9th Ship for World Youth Program</b> <b>3rd International Reunion (Acapulco, Mexico)</b> 3rd Version of SWY Directory 5th Edition of SWY News
1998	Jan.15-21  Jan.-Mar. Feb. 20-28 Mar. 3-4 March December	<b>3rd SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Brazil, Canada, Chile, Costa Rica, Dominican Republic, Ecuador, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Peru, Tonga, USA, Venezuela <b>10th Ship for World Youth Program</b> <b>4th International Reunion (Muscat, Oman)</b> *1st Post-Program Activities Promotion Programs (Jordan~Oman) 4th Version of SWY Directory 6th Edition of SWY News

Year	Date	Programs
1999	Jan. 14-20  Jan.-Mar. Feb.15-27 Feb. 23-26 March July Sep. 6-12  Sep.-Oct. Oct. 3-4 Oct.1-20	<b>4th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Egypt, Finland, Greece, Japan, Norway, Poland, South Africa, Sri Lanka, Sweden, Tanzania, UAE, UK, Yemen <b>11th Ship for World Youth Program</b> <b>*2nd Post-Program Activities Promotion Programs (Ecuador~Mexico)</b> <b>5th International Reunion (Acapulco, Mexico)</b> 5th Version of SWY Directory 7th Edition of SWY News <b>5th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Canada, Chile, Costa Rica, Dominican Republic, Ecuador, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Peru, Solomon, Tonga, Uruguay, USA, Venezuela <b>12th Ship for World Youth Program</b> <b>6th International Reunion (Cape Town, South Africa)</b> <b>*3rd Post-Program Activities Promotion Programs (South Africa~UAE)</b>
2000	Mar. 27-31 July Aug. 31-Sep. 6  Sep.-Oct. Oct. 7-11 Oct. 4-26	<b>SWYAA Post-Program Conference (Tokyo)</b> 8th Edition of SWY News <b>6th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bahrain, Belgium, Egypt, Greece, India, Japan, Kenya, South Africa, Sweden, Tanzania, UAE, UK <b>13th Ship for World Youth Program</b> <b>7th International Reunion (Auckland, New Zealand)</b> <b>*4th Post-Program Activities Promotion Programs (New Zealand~Singapore)</b>
2001	September Oct.-Dec. Nov.12-Dec.13 Dec. 4-16	9th Edition of SWY News <b>14th Ship for World Youth Program</b> <b>*5th Post-Program Activities Promotion Programs (New Zealand~Tokyo)</b> <b>7th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Brazil, Canada, Chile, Costa Rica, Ecuador, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Paraguay, Peru, Tonga, USA, Venezuela
2002	Mar. 2-7 July Oct.-Dec. Nov. 24-28 Nov. 28-Dec.13 Dec. 2-16	<b>SWYAA Port of Call Activities Promotion Conference</b> 10th Edition of SWY News <b>15th Ship for World Youth Program</b> <b>8th International Reunion (Vancouver, Canada)</b> <b>*6th Post-Program Activities Promotion Programs (Canada~Japan)</b> <b>8th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Canada, Chile, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Tonga, USA, Venezuela
2003	August	11th Edition of SWY News
2004	Jan. -Mar. Feb. 8-12 Feb. 24-Mar. 3  Feb. 24-Mar. 7  September	<b>16th Ship for World Youth Program</b> <b>9th International Reunion (Dar es Salaam, Tanzania)</b> <b>*7th Post-Program Activities Promotion Programs (Tanzania, Singapore~Japan)</b> <b>9th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bahrain, Egypt, Greece, India, Japan, Kenya, Mauritius, Norway, Seychelles, Spain, UAE 12th Edition of SWY News

Year	Date	Programs
2005	Jan. -Mar. Jan. 31-Feb. 4 Feb. 1, 27  Feb. 24-Mar. 8  September	<b>17th Ship for World Youth Program</b> <b>10th International Reunion (Sydney, Australia)</b> <b>*8th Post-Program Activities Promotion Programs (Australia, Saipan~Japan)</b> <b>10th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Brazil, Canada, Chile, Costa Rica, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Solomon, Tonga, USA, Venezuela 13th Edition of SWY News
2006	Jan. -Mar. Feb.11-16 Feb. 23, 27  Feb. 21-Mar. 6  September	<b>18th Ship for World Youth Program</b> <b>11th International Reunion (Port Louis, Mauritius)</b> <b>*9th Post-Program Activities Promotion Programs (Mauritius, Singapore~Japan)</b> <b>11th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bahrain, Greece, India, Japan, Kenya, Mauritius, Norway, Seychelles, Sri Lanka, Sweden, Tanzania, UAE, Yemen 14th Edition of SWY News
2007	Jan. -Mar. Feb.19-27 Apr. 17-22  September Sept. 5-9	<b>19th Ship for World Youth Program</b> <b>*10th Post-Program Activities Promotion Programs (New Zealand~Vanuatu)</b> <b>12th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Brazil, Canada, Chile, Costa Rica, Fiji, Japan, New Zealand, Solomon, Tonga, U.S.A., Venezuela 15th Edition of SWY News <b>1st SWYAA Global Assembly (Athens, Greece)</b>
2008	Jan. -Mar. Feb. 20-27  Mar. 16-21  Aug. 21-24 October	<b>20th Ship for World Youth Program</b> <b>*11th Post-Program Activities Promotion Programs (India ~ Singapore)</b> <b>13th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bahrain, Egypt, Greece, India, Japan, Kenya, Oman, Seychelles, Spain, Sri Lanka, Sweden, Tanzania, Yemen <b>2nd SWYAA Global Assembly (Tokyo, Japan)</b> 16th Edition of SWY News
2009	Jan. -Mar. Feb. 12-20  Mar. 22-27  September Sept. 2-6	<b>21st Ship for World Youth Program</b> <b>*12th Post-Program Activities Promotion Programs (New Zealand ~ Vanuatu)</b> <b>14th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Canada, Costa Rica, Ecuador, Fiji, Japan, New Zealand, Peru, Solomon, Tonga, Venezuela 17th Edition of SWY News <b>3rd SWYAA Global Assembly (Brisbane, Australia)</b>
2010	Jan. -Mar. Feb. 17-25  Mar. 22-27  June 19- 25  September Oct. 9- 12	<b>22nd Ship for World Youth Program</b> <b>*13th Post-Program Activities Promotion Programs (India ~ Singapore)</b> <b>15th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bahrain, Egypt, Greece, India, Japan, Kenya, Mauritius, Oman, Sri Lanka, Sweden, U.A.E. <b>16th SWYAA Tokyo Conference (East)</b> <Participating Countries> Australia, Chile, Fiji, Japan, Mexico, New Zealand, Peru, Solomon, Tonga, Vanuatu, Venezuela 18th Edition of SWY News <b>4th SWYAA Global Assembly (Cairo, Egypt)</b>

Year	Date	Programs
2011	Jan. – Mar. Feb. 10 – 18 September Sep. 28– Oct. 2	<b>23rd Ship for World Youth Program</b> <b>*14th Post-Program Activities Promotion Programs (Australia ~ Vanuatu)</b> <b>19th Edition of SWY News</b> <b>5th SWYAA Global Assembly (Mexico City, Mexico)</b>
2012	Jan. – Mar. Feb. 18 – 24 Mar. 18 – 24  September Oct. 4 – 8	<b>■ 24th Ship for World Youth Program</b> <b>*15th Post-Program Activities Promotion Programs (Sri Lanka ~ Singapore)</b> <b>17th SWYAA Tokyo Conference (West)</b> <Participating Countries> Bahrain, Egypt, Greece, India, Japan, Kenya, Sri Lanka, Sweden, Turkey, U.A.E., Yemen <b>20th Edition of SWY News</b> <b>6th SWYAA Global Assembly (Bahrain)</b>
2013	Jan. – Mar. Feb. 15 – 18 Mar. 17 – 23  Aug. 30 – Sep. 2 September	<b>■ 25th Ship for World Youth Program</b> <b>*16th Post-Program Activities Promotion Programs (Kobe ~ Ofunato)</b> <b>18th SWYAA Tokyo Conference</b> <Participating Countries> Australia, Bahrain, Brazil, Canada, Chile, Costa Rica, Ecuador, Egypt, Fiji, Greece, India, Japan, Kenya, Mexico, New Zealand, Oman, Peru, Solomon, Spain, Sri Lanka, Sweden, Tanzania, Tonga, Turkey, U.A.E., U.K., Venezuela, Yemen <b>7th SWYAA Global Assembly (Peru)</b> <b>21st Edition of SWY News</b>
2014	Jan. – Feb. Feb. 7 - 12 Aug. 30 – Sep. 3	<b>■ Global Leaders Development Program</b> <b>*17th Post-Program Activities Promotion Programs (Ishinomaki~Harumi)</b> <b>8th SWYAA Global Assembly (Turkey)</b> <b>22nd Edition of SWY News</b>
2015	Jan. – Feb. Feb. 6 - 10	<b>■ The Global Youth Leaders Development Program 2014</b> <b>“The Ship for World Youth Leaders”</b> <b>*18th Post-Program Activities Promotion Programs (Okinawa ~ Ofunato)</b>

## Participating Countries

Area	Country	AA Int'l	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
Asia	Japan		103	100	103	101	103	114	112	114	118	116	116	122	117	119	117	124	120	118	117	116
	Bangladesh					11				12												
	India			18		9		19				12		9		10		11		10		9
	Nepal							9														
	Pakistan			12																		
	Sri Lanka			12		20		20		19		20				10	10					
Africa	Algeria				10																	
	Cameroon																11					
	Egypt			21		20		11		11		20		9		10		12			11	
	Kenya				12		19		13		19					11			11	12		
	Mauritius															11			11	12		
	Morocco			9																8		
	Senegal							10														
	Seychelles													9				12			11	
	South Africa									18		13		9		11						10
	Tanzania									20		13		9	9			12				10
Tunisia			12																			
Europe	Belgium									13				8								
	Finland							12								10						11
	Germany			12																		
	Greece			20				20				10				10				10		
	Hungary					12																
	Italy			11																		
	Netherlands														9							
	Norway									13				9				12				
	Poland									12										12		
	Russia															9		10			11	
	Spain					20								9	9		11					11
	Sweden					12						13								12		
	United Kingdom							12				13				10					11	
Middle East	Bahrain											12		9		10		11		12		10
	Jordan							11				10										
	Kuwait			11																		
	Oman			19		20		12				12									7	10
	Qatar									9				8								
	Turkey					12								8					12			
	UAE			11		9		6		12		11		9		7		9		9		
	Yemen									12											10	
Oceania	Australia		10		10		10		20		13		13	9		9	12		11	12	10	
	Fiji		10		9				19		12		13		9		10		12		11	
	Micronesia																					
	New Zealand		10				10		12		20		12		9		11	12	12			10
	Papua New Guinea						13															
	Solomon Islands								12				13					10			11	10
	Tonga				9						13		13		9		10			11	11	
	Vanuatu																10					10
	Western Samoa						13															
Central/South America	Argentina				14																	
	Brazil				15				13							10				12		11
	Chile						12				18				9		10				11	
	Colombia		9						13													
	Costa Rica		10		20		21				20				9				12			11
	Dominican Rep.				15		21															
	Ecuador		25				13		20		13		13		9							
	Honduras		9																			
	Jamaica								13													
	Mexico		25		20		13		19		25		13	9	9		11		12		10	
	Panama		25																			
	Paraguay														9							
	Peru				14						13		13	9				12				
Uruguay						13						13										
Venezuela		25		20		21		13		13		13		8		11		12				
North America				10				13		12		13	9	9		11		12	12	10		
USA		15		15		15		12		13		13		10	10	12	11	11	11			11
Total			276	268	274	268	278	275	291	278	303	294	271	263	252	258	247	258	260	250	252	250

AA Int'l: SWYAA International Full Members- , SWYAA International Associate Members-  
GLDP: Global Leaders Development Program

Area	Country	21	22	23	24	25	GLDP	27	Total
Asia	Japan	108	130	126	129	116	87	108	3074
	Bangladesh								23
	India		12		11		8	8	146
	Nepal								9
	Pakistan								12
	Sri Lanka		12		11	10		10	154
Africa	Algeria								10
	Cameroon								11
	Egypt	12	11		11				159
	Kenya		11			8		9	125
	Mauritius	12							46
	Morocco								17
	Senegal								10
	Seychelles								32
	South Africa								61
	Tanzania			11			9		93
	Tunisia								12
Europe	Belgium								21
	Finland								33
	Germany								12
	Greece		11						81
	Hungary								12
	Italy								11
	Netherlands								9
	Norway	12							46
	Poland								24
	Russia				11				41
	Spain				11				71
	Sweden			12			9		58
	United Kingdom							10	56
Middle East	Bahrain		12	11	10	10	9	10	126
	Jordan								21
	Kuwait								11
	Oman		11	12				10	113
	Qatar								17
	Turkey		12		11	10	9	10	84
	UAE	9	11			8			111
	Yemen	11	12						45
Oceania	Australia		11	12					162
	Fiji	12		10		9	9		145
	Micronesia			10					10
	New Zealand	12			11	10		10	161
	Papua New Guinea								13
	Solomon Islands			12					68
	Tonga	12							88
	Vanuatu	11		10					31
	Western Samoa								13
Central/South America	Argentina								14
	Brazil			12	11		9	9	102
	Chile			12		10			82
	Colombia								22
	Costa Rica					10			113
	Dominican Rep.								36
	Ecuador		12						105
	Honduras								9
	Jamaica								13
	Mexico			12		10	9		197
	Panama								25
	Paraguay								9
	Peru	12			11			10	94
	Uruguay								26
	Venezuela	11			11				158
North America	Canada	12			11				134
	USA								148
Total		246	268	262	260	211	158	202	6975



**Ship for World Youth  
Alumni Association (SWYAA)  
Activity Report 2014**